

沖冠
十八史略譯解

特31
732

共
五
冊

館籍書會育教本日大			
室		第	
一	五		二
二	四	五	九
冊	號	架	函

函架號

003214-001-4

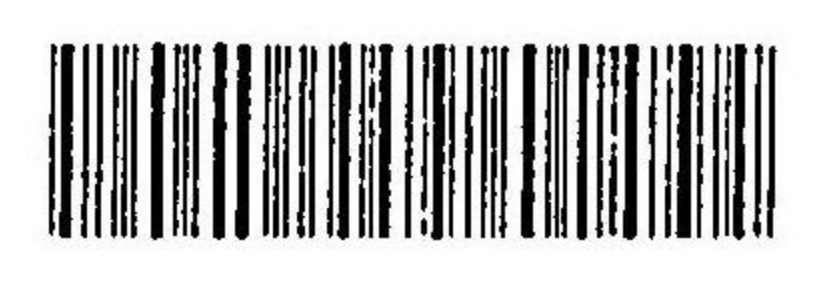
特31-732

十八史略訳解

沖 正修/編

M7

ACC-1466



冲寇嶺正脩編輯

龔頭
拜畫

十八史畧譯解

東京

敬業堂藏版

特31
732

十八史畧譯解序

冠嶺冲子前日請余支那國史畧序余又
請十八史畧譯解序且曰此編之序遍請
諸老先生願君勿雷同焉余曰前編後編
其書固相似類矣其序業已恐雷同况同
諸老先生乎且既有諸先生序何贅余序
冠嶺曰君最為舊知其序固不可欠且支
澂先生雖學老文精然未必了余之平素
君其宜述之余曰唯唯乃曰子之尊人別

十八史畧譯解序

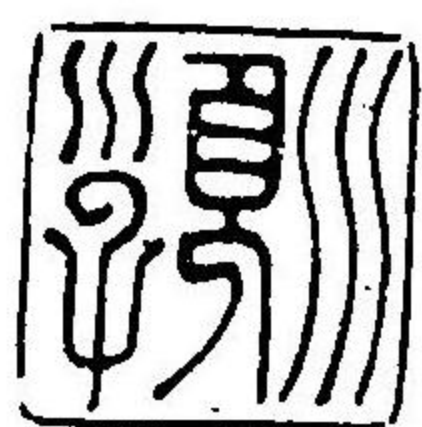
冠嶺冲子前日請余支那國史畧序今又
請十八史略譯解序且曰此編之序遍請
諸老先生願君勿雷同焉余曰前編後編
其書固相似類矣其序業已恐雷同况同
諸老先生乎且既有諸先生序何贅余序
冠嶺曰君最為舊知其序固不可欠且支
漢先生雖學老文精然未必了余之平素
君其宜述之余曰唯唯乃曰子之尊人別

卷八 十八史畧譯解序

岳翁豫州人夙以画為業入都之初有故
寓余姒戚間下氏以故始得相見尔時冠
嶺甫五六歲常侍膝前疑疑然已知其非
凡也居一二年辭間下氏而去矣不復聞
信息後數年忽聞西郭画人冲冠岳者為
當世之名手矣而其子冠嶺年僅過志學
學才穎敏然未寓心於繪事也未幾余避
逅冠岳因話往昔竟以冠嶺見託為尔來
冠嶺屬來示詩近日專讀法史遂著史略

譯解等書余謂之曰子初不學繪事而學
讀書今又後詩而先閱史可謂其志逾遠
者矣夫史學不易譯之最難自非熟讀詳
校安得命梓播於世乎哉若有誤解不唯
子之恥抑又尊人之耻也余為兩重舊識
故先叙多年之交誼後叙子之史述然所
謂不以頌而以規者子其勉旃夫如是則
豈与諸老先生為雷同耶子以為何如冠
嶺曰善此為序

明治七年甲戌晚春蘆洲植邨正義撰



入吾村農梅堂書



沖冠嶺著十八史略譯解凡例

一 此編ハ童蒙ノ此ニ階梯シ史學ニ進歩速カナル

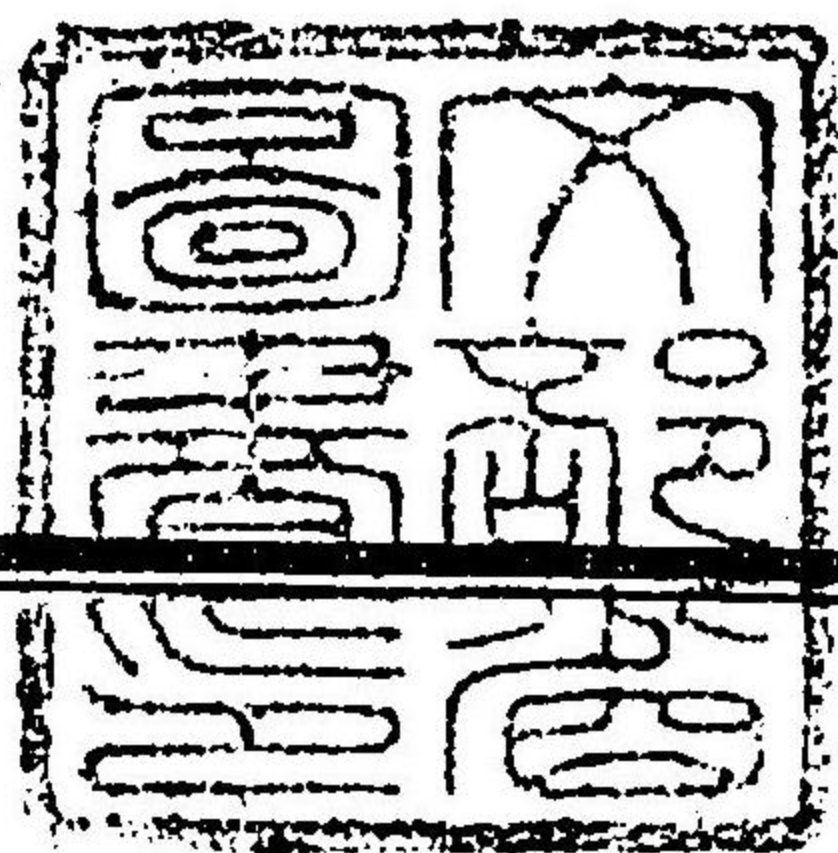
ヲ欲スルニ在リ故ニ譯解ヲ以テ名トナシ國字

ヲ以テ之ヲ瀾シ詳ニ左右ノ音訓ヲ施スハ初學

ニ讀ミ易ク又解シ易カラシム

一 鼈頭並ニ小註皆古人ノ說ヲ取ル敢テ臆說ヲ為

サス



一 圖画ヲ舉クル者童蒙ノ娛眼ニ供シ其文ヲ讀ム

ニ倦マヌシテ自然ニ熟スルヲ要ス

一 小註多クハ地名人名ノ如キヲ載セ其間ニ本史

ノ外諸説ヲ舉ク

沖冠嶺著十八史略譯解目録

卷第一

太古 三皇 五帝 夏 殷 周

春秋戰國

卷第二

春秋戰國 秦

卷第三

西漢

卷第四

西漢 東漢

卷第五

東漢 三國 西晉

卷第六

東晉 南北朝

卷第七

隋 唐

卷第八

唐 五代 宋

卷第九

宋 南宋

卷第十

南宋

目錄終

沖冠嶺著十八史界譯解卷之一

東京 冠嶺沖正修編輯

木徳凡ソ撮色ハ
 青ヲ尚フ撮寅
 寅ナリ、太歳格
 =在ヲ、撮提格
 ト曰フ、言ハ、歳
 星始テ撮提格
 ヨリ、無テ起ル
 ナリ、無為上ル
 ハ、民淳ノ化スハ
 令セ、ス、ノ、ハ
 各一説ニ當サ
 =合ニ、作ルモ
 シ、後地皇氏モ
 亦同シ、皇氏モ
 火徳凡ソ撮色ハ
 赤ヲ尚フ撮色ハ
 =君長クナルナ
 リ

○太古

天皇氏テ古者ノ氏ヲ以テ美號ト木徳ヲ以テ

テ王タリ、歳ハ撮提ヲヨリ起ル、無為ニ

ノ化ス、兄弟十三人、各一萬八千歳地

皇氏ハ火徳ヲ以テ王タリ、兄弟十一人

各一萬八千歳人皇氏ハ兄弟九人、分テ

九州ニ張タリ九州冀、揚、荆、豫、凡テ

世代薪柴ヲ巢ヲ聚
 為シテ居ルナ
 メ以テ
 リ燧木ヲ鑽テ火
 燧ヲ取ルナテ火
 食スルナテ火
 炊スルナテ火
 古文ノ考リテ火
 ハ卦乾坤艮巽
 震離坎兌其書契
 木ヲ刻テ其書契
 側ヲ書シテ以テ
 事ヲ約スナリテ
 繩ヲ結フナリテ
 ハ未ダ文字上ナ
 ラス大ニ文字上ナ
 則チ大事ニ結ハ
 ヒ小ニ事ニ結ハ
 チ小ニ事ニ結ハ
 以テ之ヲ記ス
 嫁娶ノテス

百五十世合セテ四萬五千六百年人
 皇ヨリ以後ニ人皇以後五龍紀攝提
 紀アリ相繼テ以テ合熊紀連通紀叙命
 而ノ有巢ニ及フナリ有巢氏ト曰
 フモノ有リ木ヲ構ヘ巢ヲ為シ木實
 ヲ食フ燧人氏ニ至リ始テ燧ヲ鑽テ
 人ニ火食ヲ教ユ書契以前ニ在リ年
 代國都攷フ可ラス

○三皇

○太昊伏羲氏ノ聖徳アルツテ日月ノ明
 曰ス太昊始テ網罟ヲ作リ伏羲氏
 漁シ以テ氏用テ瞻ス故ニ伏羲氏
 ト曰ス

夫ニ從テ嫁テト
 曰ト女ヲ取テト
 妻ト為テ娶テト
 曰フ僮對ナリト
 古ハ鳥獸ノ皮リ
 ラ衣ル故ニ禮ニ
 ナス以テ僮ノ義
 ナク取ル後世ノ
 ナク取ル此後本
 納幣此ニ本ツ
 ク僮僮ハ本ツ
 ト同シ會ハハ
 取ルナリ會ハハ
 魚ヲ捕ルハ牲
 牛羊豕ハ牲ト
 曰フ犧ハ色ト
 純ナク殺ス
 庖厨ト宰殺ス
 曰ス庖厨ト宰殺ス
 曰ス庖厨ト宰殺ス

太昊伏羲氏風姓ナリ

氏ハ其子孫ノ自テ分ル所燧人氏ニ
 別ク後皆ナ此ニ倣ヘル所燧人氏ニ
 代テ玉タリ母ヲ華昏ト曰ス夫人ノ
 迹ヲ雷澤ニ履テ伏羲ヲ成紀ニ生ム
 雷澤地濟陰ニアリ蛇身人首始テ八
 成紀地天水ニ安國曰ク伏羲氏ノ天
 卦ヲ畫ス孔安國曰ク伏羲氏ノ天
 ヲリ出ツ遂ニ八卦ヲ畫ス文ニ書契ヲ作リ
 則テ以テ八卦ヲ畫ス文ニ書契ヲ作リ
 以テ繩ヲ結フ政ニ代フ嫁娶ヲ制
 ス僮皮ヲ以テ禮ト為ス網罟ヲ結
 佃漁ヲ教ユ犧牲ヲ養ヒ以テ庖厨
 充ソ故ニ庖犧ト曰ス龍ノ瑞アリ龍

都都ハ、猶ホ、總ノコトキナリ、天子ノ居ハ、天

ヲ以テ官ニ紀ス、龍師ト號ス、官名、皆

此レ寓言ナリ、崩ハ其自ラナ

以テ溜氷ヲ止ム、是ニ於テ地平ニ天

三皇神農

ル極ヲ謂フナリ
四綱ヲ立ツハ
紀綱ヲ新ナリ
言フ今起スユ
〔報〕土ヲ起ス
鐵ヲ其ノ首ハ
加フ其ノ柄ニ
十ヲ二ノ柄ニ
月報田祭ノ二
物ヲ合祭ノ之
ヲ索饗スルナ
ト夏饗ハ清祀
ト曰ハ穀ニハ
ト嘉始皇復臘
ト曰フ秦始皇
ト曰フ嘉始皇
ト曰フ嘉始皇

官ニ紀ス、水ヲ斲テ、
揉テ耒ヲ為クル、始テ
祭ヲ作ス、耒ヲ以テ
百草ヲ嘗テ始テ醫藥
中ニ市ヲ為シ、交易メ
都ス、曲阜ニ徙ル、
位百四十年ニ崩ス、
〔帝百〕帝來帝襄帝掄
八世、五百二十年
○黃帝軒轅氏
勝テ土德ノ瑞アリ、
故ニ黃帝ト曰フ、帝
壽丘ニ生レテ

一星北斗ノ第
來朝享セザ
ルノ銅鐵額
虫尤ノ如シキ
銅鐵ノ能ク大
霧虫尤ノ能ク
士為昏迷ス指
南車古制未タ
傳テ始テ其ノ
至テ定ム車上
制ヲ定ム車上
ニ木樓アリ、
ニ木樓アリ、
人ヲ為ク、
車ヲ回轉ス、
指テ軒轅ノ南
用テ以テ軍士
ヲ定メ、軍士

姫水ニ長ス、曰テ以テ
ノ丘ニ居ル、曰テ以テ
テ水ニ居ル、曰テ以テ
姫水ニ居ル、曰テ以テ
黃帝軒轅氏公孫姓ナリ、
ハ軒轅有熊國ノ君少典ノ子ナリ、
大電ノ北斗ノ樞星ヲ繞ルヲ見テ、
シテ帝ヲ生ム、炎帝ノ世衰フ、
侵シ伐ツ、軒轅乃チ干戈ヲ用ル、
習ヒ、以テ不享ヲ征ス、
歸ス、炎帝ト阪泉ノ野ニ戰ヒ、
ツ〔阪泉〕地ノ上、
人銅鐵額能ク大霧ヲ作ス、
軒轅指南

史記卷之八 黃帝本紀第一 三皇黃帝 四

示ス、一説ニ子
午盤針ヲ用テ
之ヲ車ニ置ト、
亦通ス

斗ノ建云々斗
柄ノ指ス所ヲ
驗ムナリ、天
幹ヲ以テ、二
地ノ配メ六
十甲子ノ律
十ニ律簡長

短制度詳見禮
記集説長ノ濁
レ聲ノ者ヲ官ト
曰フ六律黃鐘
太族姑洗蕤賓
夷則無射六呂
太呂夾鐘仲呂
林鐘南呂應鐘
氣ノ應ヲ候鐘
說ノ禮記集説
見ニ律呂律ハ
述ルユリ、陽氣
リ、呂ハ旅ナリ
陽氣ヲ助ルナリ
律ニ鐘五音
角徵宮商羽

車ヲ作り、蚩尤ト涿鹿ノ野ニ戰テ之
ヲ擒ニス、涿鹿郡北平遂ニ炎帝ニ
代テ天子タリ、炎帝火德其後モ亦通稱
ト、炎帝土德ノ王タリ、涿鹿ニ都ス、雲
ヲ以テ官ニ紀ス、雲師ト為ス、官名皆
ア、舟車ヲ作り、以テ通セサルヲ、濟ス、
風后ヲ得テ相ト為シ、カ牧ヲ將ト為
ス、風后カ牧人河圖ヲ受ク、黃帝夢
ヲ投ルヲ見、乃齋メ、河洛ニ往テ、
圖ヲ求ム、大魚アリ、流ニ洑テ、上ル、
ハ、蔡氏ノ書傳ニ見ヘク、日月星
辰ノ象ヲ見テ、始テ星官ノ書アリ、大

撓ニ命シ、斗ノ建ヲ占テ、甲子ヲ作ラ
シメ、容成ニ曆ヲ作ラシメ、隸首ニ算
數ヲ作ラシメ、伶倫ニ嶰谷ノ竹ヲ取
テ、十二律ノ簡ヲ制セシメ、以テ鳳鳴
ヲ聽キ、嶰谷地、崑崙雄鳴六、雌鳴六ヲ
分ツ、黃鐘ノ宮ヲ以テ、六律六呂ヲ生
シ、以テ氣ノ應ヲ候ス、十二鐘ヲ鑄テ、
五音ヲ和ス、嘗テ晝寢ス、夢ニ華昏ノ
國ニ遊フ、既ニ寤ム、昭然ト自得ス、
其後、天下大ニ治マル、幾ト華昏ノ
如レト、世ニ傳フ、黃帝、銅ヲ采テ、鼎ヲ

史記卷之八 三皇黃帝 五

胡髻ノ垂ルハ、領下ノ謂ナリ、髻ハ、其

巳、滕、依、是、ナリ、荀、儀、

鑄ル、鼎成ル、龍アリ、胡髻ヲ垂テ下リ

迎フ、帝、龍ニ騎テ天ニ上ル、群臣後宮

從フ者七十餘人、小臣上ルヲ得ス、

悉ク龍髻ヲ持ス、髻拔ク、弓ヲ墮ス、其

ノ弓ヲ抱テ號ク、後世、其處ヲ名ツケ

テ、鼎湖ト曰フ、其ノ弓ヲ烏號ト曰フ

禹、湖、處、州、府、縉、雲、縣、山、ニ、ア、リ、黃、帝、在、位、百、年、二、十

五子アリ、其ノ姓ヲ得ル者十四人、十

二姓トナル

○五帝

○少昊金天氏、故能ク太昊ノ法ヲ修ム、

ヲ以テ王ト號ス、故

少昊金天氏、已姓、名ハ玄囂、一ニ曰ク、名

ハ、摯、黃、帝、ノ、子、ナ、リ、亦、青、陽、ト、曰、フ、其

ノ立トキヤ、鳳鳥適ニ至ル、鳥ヲ以テ

官ニ紀ス、官名、皆ナリ、金徳ノ王ト曰ク、曲

阜ニ都ス、曲阜前、在位八十四年

○顓頊高陽氏、故顓頊、初ノ高陽氏ト號ス、

顓頊高陽氏、姬姓、名ハ顓頊、昌意ノ子、黃

帝ノ孫ナリ、少昊ニ代テ立ツ、少昊ノ

衰ルトキ、九黎徳ヲ亂ル、諸侯、黎氏、九

人、民、神、雜、糝、ノ、方、物、ス、可、ラ、ス、顓、頊、之

糝、混、ス、ル、處、以、テ、求、ム、可、カ、ラ、シ、テ、言、ハ、ル、故、ニ、同、ク、ス、別、ノ、コ、ト、ハ、猶、ホ、物、ハ、名、ナ、リ

旬朝十日一旬
日朝十日一旬
億兆民ナリ
十億兆ト曰ス
野在野外
服更トメテ微服
路四達ル衢
ト曰フ五達ル衢
至極ト曰フ徒歌
嘯樂云々此レ日出
リ嘯樂云々此レ日出

帝堯微服ノ康衢



剪ラス、社踏三等草アリ庭ニ生ス、十
五日以前ハ、日ニ一葉ヲ生ス、以後ハ、
日ニ一葉ヲ落ス、月小ニノ盡レハ、則
チ一葉ノ落チズ、名ツケテ莫イテ
曰ス、之ヲ觀テ、以テ旬朝ヲ知ル、天下
ヲ治ムルヲ五十年、天下治マルカ、治
マラサルカ、億兆ヲ戴レテ戴テ願フカ、
已レテ戴テ願ハサルカヲ知ラス、左
右ニ問フニ知ラス、外朝ニ問フニ知
ラス、在野ニ問フニ知ラス、乃チ微服
ノ康衢ニ游フ、童謡ヲ聞ニ、曰ク、立我

烝民莫匪爾極、不識不知、順帝之則、立
烝民云々此レ發美ノ辭ナリ、言ハ、此
ノ衆民ヲ立ル帝ノ至極ノ徳ニ非ル
所ナシ、我ハ則チ帝ノ識ル所ナク、知ル
アリ、唯帝堯ノ法ニ順フノ老人
テ曰ク、日出而作、日入而息、鑿井而飲
畊田而食、帝於我、有何カヤト、華ニ觀
ス、華州、華陰縣ノ南ニアリ、華封人
曰ク、封人、封疆ヲ官、嘯請フ、聖人ヲ祝セ
ン、聖人ヲノ壽富ニノ男子多カラシ
メント、堯ノ曰ク、辭ス、男子多ケレバ
則チ懼レ多シ、富メハ則チ事多シ、壽

昌盛美ノ貌間
同シ

僂仙ト同シ、老
テ死セザルヲ

ケレハ則チ辱多シト、封人ノ曰ク天
萬民ヲ生シ、必ス之ニ職ヲ授ク、男子
多クメ之ニ職ヲ授ケハ、何ノ懼レカ
之レ有ラン、富テ人ヲノ之ヲ分タシ
メハ、何ノ吏カ之レ有ラン、天下道ア
レハ、物ト皆ナ昌フ、天下道ナケレハ、
徳ヲ脩テ間ニ就ク、千歳世ヲ厭ハバ
去テ上僂シ、彼ノ白雲ニ乘シ、帝郷ニ
至ラハ、何ノ辱カ之レ有ラント、堯立
テ七十年、九年ノ水アリ、鯀ヲノ之ヲ
治メシム（鯀）崇伯ノ名九載績アラス

不肖賢父ニ若
カサルヲ不肖
ト曰フ舜ヲ天
ニ薦ム舜ヲメ
位ヲ攝セシム
舜位ニ即ク見ユ

瞽瞍目ナキヲ
瞽瞍曰フ、父、
アソテ好シハ
分別スル能ハ
ス故ニ時人ノ
ヲ瞽瞍曰フ字
ヲ配ス曰フ字
ノ稱ナリキ

堯老テ勤ニ倦ム、四嶽舜ヲ舉ク、天下
ノ吏ヲ攝行セシム、（四嶽）官名、四嶽ノ
タリ伯堯ノ子、丹朱、不肖ナリ、乃チ舜ヲ
天ニ薦ム、堯、在位百年ニ崩ス、舜、位
ニ即ク

○帝舜有虞氏
號ス、天下ヲ分テ十ニ州ト為ス、虞ト
ル氏ニ有テノ故ニ有字ヲ以テ之
ニ配スルナリ、義例ナキナリ

帝舜有虞氏（姚）姓名ハ舜、或ハ曰フ、名ハ
重華、瞽瞍ノ子、顓頊六世ノ孫ナリ、顓頊
窮蟬ヲ生ム、窮蟬、康敬ヲ生ム、康敬、勾
芒ヲ生ム、勾芒、嬌牛ヲ生ム、嬌牛、瞽瞍

器ヲ務テ厚正惡ノ爲ニ爲テ以進ヲニラスト倫ナ悌兄キ孝
ヲ務テ厚正惡ノ爲ニ爲テ以進ヲニラスト倫ナ悌兄キ孝
ヲ務テ厚正惡ノ爲ニ爲テ以進ヲニラスト倫ナ悌兄キ孝
ヲ務テ厚正惡ノ爲ニ爲テ以進ヲニラスト倫ナ悌兄キ孝

娥黃女英ト曰フ、媯汭ニ釐降ス、媯水
三年ニ都ヲ成ス、堯之レカ聰明ヲ聞
テ、畎畝ニ舉ク、妻スニ二女ヲ以テス、
居ル所口聚ヲ成ス、二年ニ邑ヲ成ス、
陶亭是ナリ、陶河濱ノ器皆ナ苦窳セス、
ナ居ヲ讓ル、河濱ニ陶器皆ナ苦窳セス、
ナ居ヲ讓ル、河濱ニ陶器皆ナ苦窳セス、
ナ居ヲ讓ル、河濱ニ陶器皆ナ苦窳セス、

嗚斜ニセサル
云々聚ハ村落
ナリハハハハ
スル所ハハハ
都ト曰フ、此
蓋シク其ノ大
舉ク放ル、此
玆ハ放ル、此
置テハ之ツ、
得サテハ之ツ、
ハシテハ之ツ、
ルハシテハ之ツ、
驅逐禁錮スル

今ノ河、中府、河東、縣ニ、
テ、亦、小、水、大、水、
兩水合流、内、ナ、
裝下シ、嫁ス、以、
政ヲ攝ス、驪玆ヲ放、
臣名共工、驪玆ヲ放、
二名比、驪玆ヲ放、
苗、水、驪玆ヲ放、
苗、水、驪玆ヲ放、
苗、水、驪玆ヲ放、
苗、水、驪玆ヲ放、

五帝帝舜

〔橈〕板ヲ以テ之
箕ノ如ク、泥上
ヲ以テ之、
為ク、其形、錐
ニ似ル、長サ半
寸、以テ履下ニ
施テ、山ニガ
ルテ、以テ登山
ナリ、

ニアリ、或人曰ク、舜、南越
ノ蒼梧縣ノ野ニ崩ス、ト
禹位ニ即ク

○三代

○夏カカ、禹、夏ノ地ヨリ起ル故ニ夏
稱ス、天トヲ分テ、
復タ九州トナス

〔夏后氏〕姒姓、名ハ禹、或ハ曰ク、名ハ文暉、

鯀ノ子、顓頊ノ孫ナリ、鯀洪水ヲ湮ク、

舜、禹ヲ舉テ、鯀ニ代ラシム、身ヲ勞シ

思ヲ焦メ、外ニ居ル、十三年、家門ヲ

過レ、氏入ラス、陸行ニハ車ニ乘リ、水

行ニハ舟ニ乘リ、泥行ニハ橈ニ乘リ、

〔橈〕ハ律禹ノ戲
音、鐘律ニ應ス
テ、身ハ度トナス

山行ニハ、橈ニ乘リ、九州ヲ開キ、九道

ヲ通シ、九澤ニ陂シ、九山ヲ度ル、〔九州

言ハ、九州ノ道路、山澤、平厥ノ成功ヲ

治ナラサルナキナリ、平厥ノ成功ヲ

告ス、舜之レヲ嘉メ、百官ヲ率テ、天下

ノ事ヲ行ハシム、〔百官云々〕水土既ニ

成功ヲ、遂ニ舜ニ告ス、舜、其功ヲ

善メ、位ヲ攝セシム、舜崩ノ乃

チ、位ヲ踐ム、〔位ヲ踐ム〕詳ニ孟子ニ見

ク、國ヲ夏ト號ス、建寅ノ月ヲ以テ、歲

首トナス、色ハ、黒ヲ尚フ、牲ハ、玄ヲ用

ス、〔平陽〕今ノ晉州城、是ナリ、皇甫謐曰

アリ、晉陽ニ、都ス、或ハ安邑ニアリ、或

黃龍舟ヲ負ノ



禹ノ道ヲ繼ク、禹嘗テ益ヲ天ニ薦ム、
 謳歌シ朝覲スル者、益ニ之カスノ啓
 ニ之キ曰ク、吾カ君ノ子ナリト、啓遂
 ニ立ツ、有扈氏夏ノ同國無道ナリ、啓與
 ニ甘甘誓ノ傳文ニ見ヘタリ、説
 在位二十九年ニ崩ス、太康立ツ、盤
 游ノ返ラス、在位二十九年、有窮ノ后
 桀窮ノ名、射ル者ニアラヌ、其ノ弟仲
 康ヲ立テ、其政ヲ專ラニス、義和義
 ラ守テ服セス、義和義氏、和氏、夏合セ
 授ク時ヲ羿、王命ヲ假リ、胤侯ニ命ノ之

龍一ノ名ハ、守宮
 フ謂フ、蛇ニキ
 足ヲ天ニ薦ム
 益ヲ天ニ薦ム
 益ヲ天ニ薦ム
 シム、啓遂ニ立
 ヲ説孟子ニ見
 ヲ頌歌其徳ヲ朝
 観諸侯北ニ朝
 テ天子ニ見ユ
 ルヲ觀ト曰フ
 嬖臣幸ノ臣
 成十里旅五百

ヲ征ス胤國仲康、在位十三年ニ崩
 ス、子相立ツ、羿相ヲ逐テ自立ス、嬖臣
 寒浞名姓又羿ヲ殺メ自立ス、相、在位二
 十八年、浞ノ子ノ滅ス所トナル、夏遂
 ニ中絶スル、四十年、相ノ后ハ、有仍國
 ノ君ノ女ナリ、方ニ娠メリ、有仍ニ奔
 テ、少康ヲ生ム、其ノ後チ少康、田一成
 アリ、衆一旅アリ、夏ノ舊臣靡臣ニ曰
 テ兵ヲ舉ケ浞ヲ滅ス、而ノ禹ノ續ヲ
 復ス、在位二十二年、少康ヨリ以來、王
 桀少康ノ子在王槐、二十六年、在位王芒

龍河漢各二
擾馴ナリ能
養テ其審
クヲ得ナリ
慾ヲ蓄ナリ
醢肉ヲトナ
テ以テ甲ニ
ス、以テ孔ト
與フ復之ヲ
孔甲饗シテ
求龍ヲ致サ
ム再

槐ノ子、在王泄、位十子、在王不降、子泄ノ
位五十八年、王肩不降ノ子、在王厘、肩不降ノ子、
九年、一王肩不降ノ子、在王厘、肩不降ノ子、
年一ヲ歷テ王孔甲ニ至テ、鬼神ヲ好
ム、淫亂ヲ事トス、夏ノ徳衰ス、天二龍
ヲ降ス、各雌雄アリ、陶唐氏ノ後、劉累
ナル者アリ、龍ヲ擾スルヲ學ス、以テ
孔甲ニ事フ、之ニ姓ヲ賜フ、御龍氏ト
曰フ、龍一雌死ス、潛ニ醢ニシテ以テ孔
甲ニ食ハシム、復夕之ヲ求ム、累懼テ
逃ル故ニ懼レテ逃ハス、孔甲ノ後、主臯
位十一年、在王發、位十三年、在ヲ歷テ王

女ヲ以テ人
ハト曰フテ
防ナリ、累
防ノ高ナリ
防言フ、高
動ナリ、牛
ノ水ヲ飲カ
シ、三千八百
其ノ大數ヲ
ル、食客三、
千、同シ、崩
壊ル、猶ホ
ス、言ハ、民
離ル、猶ホ
崩レテ、山
フ、趨ナリ、
走テ、カカ
リ、向フ、如
ナシ救

履癸子發ノニ至ル、號ノ桀トナス、賴、
ナリ、力能ク鉤ヲ伸ヘ、鐵ヲ索ニス、有
施氏ヲ伐ツ、有施氏當有施、未喜ヲ以
テ女ハス、有施、桀ノ懼ヲ畏ル、故ニ未
ナシ、ハル、籠アリ、言フ所口皆ナ、從フ、瑤
宮、瑤臺ヲ為リ、民財ヲ殫ス、肉山脯林、
酒池以テ、舩ヲ運スベシ、糟堤、以テ十
里ヲ望ムヘシ、一鼓メ牛飲スル者三
千人、未喜以テ樂トナス、國人大ニ崩
ル、湯、夏ヲ伐ツ、桀、鳴條ニ走テ死ス、
湯、桀ト此ニ戰フアリ、夏、天子タル一

卷一 史略詩解卷一 三代夏 五

干有後又通
ス後チ皆ナ
= 倣ヘ
成湯王号ナ
或ハ諡ト曰ス
一説武功成ル
故ニ成湯ト曰
姓ヲ賜フナリ

十有七世凡テ四百三十二年
○殷又商ト號ス、天下ヲ分テ、九州ト始ナテ

殷王成湯子姓名ハ履其ノ先ヲ契ト曰

ス、帝嚳ノ子ナリ、母ハ簡狄有娥氏ノ

女玄鳥ノ卵ヲ墮スヲ見テ、之ヲ吞ム、

契ヲ生メリ、唐虞ノ司徒トナル官、司徒

教ヲ掌トル、五典ヲ商ニ封セララル、州、

屬ス西ニ姓ヲ賜フ、昭明契ノ相士昭

昌若相子曹圍昌若ニ傳フ、冥曹圍ト

曰ヒ、振子冥ト曰ヒ、微子振ト曰ヒ、報

莘一説、同州、郿、陽縣ニ在リト

王一本士ニ作

丁子微ノ報乙ノ報子報丙ノ報乙子壬ノ報丙

主癸ノ子ト曰フ、主癸ノ子天乙、是ヲ

湯トナス、水徳ノ王タリ、始メテ亳ニ

居リ、先生ノ居ニ從フ、亳宋州、穀熟縣

故府、是ナリ、相士、嘗テ此ニ都ス、人ヲ

シテ幣ヲ以テ、伊尹ヲ莘ニ聘セシム

史、伊尹ハ姓、尹ハ字、名ハ摯、莘國ノ名、

ト、尹、湯ニ復歸スニ見ユ、桀、諫者關龍

逢ヲ殺ス、湯、人ヲシテ之ヲ哭セシム、

桀、怒テ湯ヲ召シ、夏臺ニ囚フ、夏臺、獄

鈞臺ト曰ヒ、秦ニ囚、圖ト曰フ、一ナリ

湯王桑林ノ社ニ禱圖



已ニ釋ヲ得タリ、湯出ツ、網ヲ四面ニ張テ之ヲ祝スルアリ、曰ク、天ヨリ降り、地ヨリ出テ、四方ヨリ来ル者ハ、皆ナ吾カ網ニ罹ト、湯ノ曰ク、嚳之レヲ盡セリト、乃チ其ノ三面ヲ解テ、改メ祝メ曰ク、左セント欲セハ左セヨ、右セント欲セハ右セヨ、命ヲ用ヒサル者ハ吾カ網ニ入レト、諸侯之レヲ聞テ曰ク、湯ノ徳至極セリ、禽獸ニ及フト、伊尹、湯ニ相トシ、桀ヲ伐チ、之ヲ南巢ニ放ク南巢、廬江、六縣ニ居、巢城アリ、今ノ無為州、巢縣ナリ

人ヲ以テ禱ル
祭ル為ニ請言
ハ民ノ為メニ
雨ヲ請フ齋戒
心ヲ洗フ齋戒
曰フ患ヲ防ス
戒ト曰フ

リ、桀此ニ奔ル、曰ク、諸侯、湯ヲ尊テ天子ト為ス、通鑑ニ、湯既ニ夏命ヲ革テ、乃ト為ス、建丑月ヲ以テ正月トナシ、色ハ白ナシ、尚フ、牲ハ白ヲ尚フ、白ヲ以テ微號トナス、号冠ヲ服シテ、縞衣ス、大ニ得スル年ニ七夕ヒ、太史ノ官、義和掌トル、欽元之ヲ占テ曰ク、當サニ人監ノ官ナリ、之ヲ占テ曰ク、當サニ人ヲ以テ禱ルヘシト、湯ノ曰ク、吾カ為メニ請フ所口ノ者ハ民ナリ、若シ必ス人ヲ以テ禱ラハ、吾レ請フ自ラ當ラント、遂ニ齋戒シ、爪ヲ剪リ、髮ヲ斷チ、素車白馬ニシテ、身ニ白布ヲ嬰テ、身ヲ以テ犠牲トナシ、桑林ノ社ニ禱ル

女謂苞苴饋遺請
謂苞苴饋遺請
子ノ如シ、苴ハ、
其ノ藉ナリ、一
説ニ、苞苴、裹ナ
リ、苴モ亦裹ナ
リ、貸賄必ス物
ヲ以テ苞裹ス、
故ニ以テ苞裹ス、
苞苴ト謂ナリ、
卒ト曰フ、太
未タ立スシテ、
死ス、故ニ亦卒
ト稱ス、不明、
ノ徳ニ明ナラ
ス、孟子曰ク、
甲湯ノ典刑ヲ
顛覆ス、ト

六事ヲ以テ自ラ責テ曰ク、政、節アラ
サルカ、民、職ヲ失ヘルカ、宮室、崇キカ、
女謂、盛ナルカ、苞苴、行ハルカ、讒夫、昌
ナルカト、言、未タ已マサルニ、大ニ雨
フル方數千里、湯崩ス、在位十三年、太
子太丁早ク卒ス、次子外丙立ツ、二年
ニノ崩ス、弟仲壬立ツ、四年ニノ崩ス、
太丁ノ子太甲立テ、不明ナリ、伊尹之
ヲ桐宮ニ放ク、桐宮、湯ノ墓ノアル所
ヲ此ニ憂ニ居ル三年、後トナス、故ニ
憂ニ居ル三過ヲ悔ヒ、自ラ責ム、尹乃
年ト為ス

祥妖怪ナリ、二
水合生ハ、不恭
ノ罰、桑穀野物
ナリ、野朝ニ
生ス、野朝ニ
スル、祥、拱、
ノ圖、拱、
ト曰フ、

ヲ奉ノ亳ニ歸ヘシ、徳ヲ脩ム、諸侯之
ニ歸ス、崩ス、在位三十五年、其ノ廟ヲ
號メ、太宗ト為ス、太甲ヨリ沃丁太甲
在位九年、太庚沃丁ノ弟、在位五年、小甲太庚ノ
十九年、雍己位小甲ノ弟、在位五年、太戊ニ
至ル、雍己、亳ニ祥アリ、桑穀共ニ朝ニ
生ス、一日ノ暮ニ大サ拱ナリ、伊陟ノ
曰ク、伊尹妖ハ徳ニ勝タス、君其レ徳
ヲ脩ヨト、太戊、先王ノ政ヲ脩ム、二日
ニノ祥桑枯死ス、殷道復興ル、崩ス、在
位七十五年、其廟ヲ號メ、中宗ト稱ス、

卷之八 三代 殷 十八



太戊ヨリ仲丁河決ノ患アリ、乃チ都ニ
 在位十三年、外壬ニ至ル、水患ヲ避テ相ニ
 何實甲ノ弟、至ル、水患ヲ避テ相ニ
 遷ル、相州、河東ニ屬、在位九年ニ崩
 ス、祖乙何實甲ニ至リ、耿ニ居ル、又耿
 ニ地ヲラル、耿河中府、龍門縣ニ
 害ニ遷リ、復タ在位十九年ニ崩ス、祖
 辛祖乙ノ子、在沃甲祖辛ノ子、在祖丁
 沃甲ノ子、在沃甲祖辛ノ子、在祖丁
 位三ノ子、在沃甲祖辛ノ子、在祖丁
 位七ノ子、在沃甲祖辛ノ子、在祖丁
 リ復タ亮ニ遷ル、殷道復興ル、在位

〔地〕河、水トノ曰、毀フル
 〔昏〕靡、昏ハ、相ナリ
 古ハ相隨テ坐
 ス、輕刑ノ名、罪
 朴刑、至ラサ
 ル者、禍ヲ衣テ
 索ヲ帶シ、役ヲ
 連テ以テ、相
 執ル

己ニ反ル道
 思フナリ、猶ホ
 孟子ノ謂ユル
 其ノ仁ニ反ル
 ノ類ノ如シ、ル

二十八年ニ崩ス、盤庚ヨリ小辛
 ノ子、在位一年、小乙小辛ノ弟、在
 位二十八年、ヲ歴テ武
 丁ノ子、在位一、至ル、夢ニ良弼ヲ得ル、説ト
 曰フ、姓ハ臣ノ名、説、昏靡ノ為メニ、傳巖
 ニ築ク、傳巖、陝州、虞魏ノ界ニアリ、嘗
 リ、菜ヲ以テ食シ、賢ニノ隱ル、代
 ラ、菜ヲ以テ食シ、賢ニノ隱ル、代
 子、菜ヲ以テ食シ、賢ニノ隱ル、代
 是、菜ヲ以テ食シ、賢ニノ隱ル、代
 リ、菜ヲ以テ食シ、賢ニノ隱ル、代
 武丁、湯ヲ祭ル、飛雉アリ、鼎ニ升テ、雉
 ク、武丁、懼テ已ニ反ル、殷道復興ル、崩
 ス、在位五十九年、其廟ヲ號ノ高宗ト

偶人土木ヲ以テ人ト曰フ博局戯ヲ博ト曰フ為メニ博行ハシム代テ博采ヲ行フ

震死其ノ非命ヲ以テ稱セス崩ト稱セス

稱ス武丁ヨリ祖庚高宗ノ子祖甲祖ノ弟在位三年原辛在位六年庚丁次子三年二十ヲ歴テ武乙ノ庚子ニ至リ無道ナリ偶人ヲ為テ之ヲ天神ト謂フ之ト博ス人ヲノ為メニ行ハシム天神勝タサレハ乃チ之ヲ膠辱ス革囊ヲ為テ血ヲ盛リ仰テ之ヲ射ル命テ天ヲ射ルト曰フ出テ獵ス暴雷ノ為メニ震死ス在位四年太丁武乙ノ子帝乙太丁ノ子ヲ歴テ帝辛ノ帝乙子ニ至ル名ハ受號メ紂トナス資辨捷疾

土籃蓋ハ内圓ニ外方ナリ以テ黍稷ヲ盛ル土籃ハ瓦罍ト曰フ毛布ヲ褌ト曰フ九重官闕ノ深キヲ謂フナリ臺トナス

聞見甚タ敏シ材力人ニ過ク手ツカラ猛獸ヲ格ツ智ハ以テ諫ヲ振クニ足リ言ハ以テ非ヲ飾ルニ是レリ始テ象箸ヲ為クル箕子歎メ曰ク箕子ハ諸父ナリ彼レ象箸ヲ為クル必ス盛ニ土籃ヲ以テセシ將サニ玉杯ヲ為ラントス玉杯象箸ハ必ス藜藿ヲ蕪ニシ短褐ヲ衣テ疥癩ノ下ニ舎ラシ則チ錦衣九重高臺廣室此レニ稱ヘテ以テ求メハ天下モ足ラシト紂有蘇氏ヲ伐ツ有蘇妲己ヲ以テ女ハス

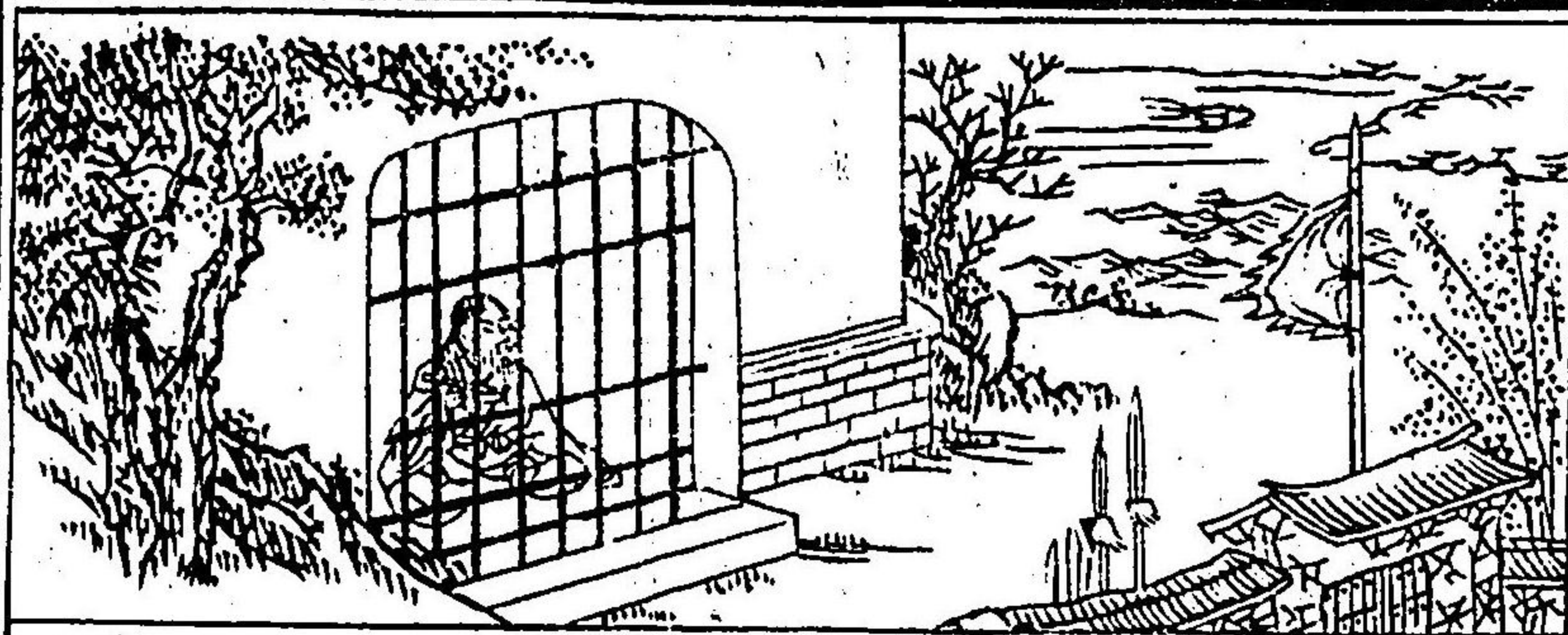
長夜ノ飲ヲ既
 明ニ至ルノ
 戸ヲ閉チテ
 塞キ官ヲ深
 フメ燭ヲ舉
 故ニ長夜ノ
 ト云辟法ナ
 庶兄妾母ト
 庶兄妾母ト
 去テ荒野ニ
 ルテハ皆罪
 奴以テ之ヲ
 フ箕子ノ諫
 ス罪ヲ得テ
 リ罪ヲ得テ
 ト遭フ故ニ
 奴囚ニ為ル

籠アリ、其ノ言皆ナ從ス、賦稅ヲ厚
 ヲ、以テ庶臺ノ財ヲ實テ瓊室玉門
 為ク、其ノ大カ、鉅橋ノ粟ヲ盈ツ、
 三ノ高、千尺、鉅橋ノ粟ヲ盈ツ、
 倉ノ名、一、鉅橋ノ粟ヲ盈ツ、
 大橋ノ名、一、鉅橋ノ粟ヲ盈ツ、
 メテ沙丘、刑州、平郷ノ東北、
 庶十、九、年、更ニヨリ、紂ノ威、
 其ノ年、更ニヨリ、紂ノ威、
 八、邯鄲、及ヒ沙丘、南ハ朝歌、
 里、邯鄲、及ヒ沙丘、南ハ朝歌、
 トナシ、長夜ノ飲ヲナス、百姓怨望シ、
 諸侯叛ク者アリ、紂乃チ刑辟ヲ重
 ス、銅柱ヲ為ク、膏ヲ以テ之ニ塗
 リ、酒ヲ以テ池トナシ、肉ヲ懸テ林

紂王比干ヲ殺スノ圖



炭火ノ上ニ加ス、罪アル者ヲメ之ニ
 縁ラシム、足滑ニメ、跌テ火中ニ墜ツ、
 姐巳ト之ヲ觀テ大ニ樂ム、名ツケテ
 炮烙ノ刑ト曰フ、淫虐甚クシ、庶兄微
 子、數諫レ、從ハズ、之ヲ去ル、
 ハ、爵名、比干、諫ム、三日去ラス、
 ナリ、紂大ニ怒テ曰ク、比干、自ラ
 ク、聖人ナリト、吾聞ク、聖人ノ心ニ七
 竅アリト、信ニ諸アルカト、遂ニ比干
 ヲ殺シ、剖テ其心ヲ觀ル、箕子、佯狂メ
 奴トナル、紂之レヲ囚フ、殷ノ大師疵



〔天師〕樂官ノ長、其樂器祭器ヲ持テ、周
 〔飛〕ハ名ナリ、其樂器祭器ヲ持テ、周
 二 奔ル、周ノ名、文王ノ封、周侯、昌、文
 及ヒ九侯、鄂侯、紂ノ三公、タリ、三公、太
 太保ヲ三公ト曰フ、漢、秦ニ襲テ、丞相
 御史、太尉ヲ以テ三公ト為ス、後、大司
 馬、大司徒、大司空ヲ置ク、三公ト為ス、
 復、師、傅、保ヲ置ク、三公ト為ス、
 武ニ十七年、大司馬、大司徒、大司空ト
 ノ字ヲ去テ、大司馬、大司徒、大司空ト
 ナリ、ス、一、紂、九侯ヲ殺ス、鄂侯、諍ス、弁
 之ヲ捕ニス、昌、聞テ、歎息ス、紂、昌ヲ姜
 里ニ囚フ、昌ノ臣、散宜生、散宜生ハ、氏、宜
 女、珍寶ヲ求テ進ム、紂、大ニ悦ブ、乃チ
 昌ヲ釋ス、昌、退テ、德ヲ修ム、諸侯多ク

周ニ朝ス、武王、
 既ニ殷ニ克ツ、
 乃チ箕子ヲ朝
 鮮ニ封メ、臣ト
 セ、ト、今、周ニ朝
 ス、ト、曰フ、ハ、猶
 ヲ左氏ニ謂ハ
 ヲ、ル、容タル者
 ノコトキナリ

紂ヲ叛テ之ニ歸ス、昌卒ス、子發立ツ、
 諸侯ヲ率テ、紂ヲ伐ツ、紂、牧野ニ敗ラ
 ル、〔牧野〕紂ノ都、朝
 死ス、在位三十三年、殷亡フ、箕子、後チ
 周ニ朝ス、故ノ殷ノ墟ヲ過テ、宮室ノ
 毀壞シテ、禾黍ヲ生スルヲ傷ム、哭セ
 ント、欲スルニ不可ナリ、泣ント、欲ス
 レハ、則チ為婦人ニ近シ、乃チ麥秀ノ
 歌ヲ作ル、曰ク、麥秀、漸々兮、禾黍、油々兮、
 今、彼、校童兮、不與我好兮、上、殷ノ民、之
 ヲ聞テ、皆ナ涕ヲ流ス、殷、天子タル三

十一世、六百四十五年

○周テ古公直父、周ノ地ニ邑ス、武王曰

州下ヲ分テ九

周武王州下ヲ分テ九姫姓、名ハ發、后稷ノ十六世ノ孫

ナリ、后稷名ハ棄初メ之ヲ棄テシ

棄ト棄ノ母ヲ、姜源ト曰フ姜源ト曰フ姜ハ名ハ姓ハ源

氏ノ女、帝嚳ノ元妃タリ、野ニ出テ、

巨人ノ跡ヲ見テ、心然トシテ之ヲ踐

ム、棄ヲ生ム、以テ不祥ト為ス、之ヲ

蹇ニ棄シ、馬牛避テ踐マズ、徙シテ山

林ニ置ク、適林中人多キニ會フ、之ヲ

巨人ト言フカホコトト言フカホコト
道ヲ生クメ而ス人
子ヲ棄ツ而ルニ
之ヲ棄ツ而ルニ
ナリ此ノ異アル

〔疏〕卓立ノ貌、謂
ハ其志凡ナラ
ス、屹然トメ、大
人ノ樹立スル
所アルカ如キ
ナリ、樹猶ホ植
稼穡トシ、稼
曰フ、歛ヲ、穡
曰フ、歛ヲ、穡

〔號〕史記ニ、号別
后稷ト曰フ、夏
姓ハ姫氏、夏后
氏政衰フ、夏后
太康國ヲ失ス、
復農ノ官ヲ廢ス、
復農ヲ務メ、西夷

氷上ニ遷ス、鳥之レヲ覆翼ク、以テ神

トナス、遂ニ之ヲ收ム、兒タリシ時、屹

トメ巨人ノ志ノ如シ、其ノ游戲種樹

ヲ好ム、成人ニ及シテ、能ク地ノ宜ヲ

相ル、民ニ稼穡ヲ教ユ、陶唐虞夏ノ際

ニ興ル、農師トナス、師ニ封セラレ、

兆府、武功縣ニアリ、堯棄テ舉テ、其姓

ヲ別ツ、后稷ト號ス、卒ス、子不窋立ツ、

夏后氏政衰フ、不窋其官ヲ失フ、戎狄

ノ間ニ奔ル、不窋卒ス、子鞠立ツ、鞠卒

ス、公劉立ツ、復々后稷ノ業ヲ修ム、畊

身ヲ文ケ其ノ
ヲ身ヲ刺シテ之

漁釣メ周ニ至
ル太公東海ニ
隱レノ善ク老
文王ノ善ク老
ヲ養フト聞テ
遂ニ入テ周ニ
釣シ以テ文王
ヲ釣ス



太公望漁釣ノ圖

及ノテ、又加ヘル、蠻ト云。秦ノ始皇、
帝ノ父、莊襄王、名ハ楚、故ニ秦人ニシテ、
諱ナシ、髮ヲ斷チ、身ヲ文ケ、以テ季歷ニ
讓ル、古公卒ス、公季立ツ、公季卒ス、昌
立ツ、西伯トナル。紂、文王ニ命シテ、西
ス、征伐ヲ專ラニスルヲ諸侯ノ長トナ
得ル、故ニ西伯ト稱ス。西伯、徳ヲ修
ム、諸侯之レニ歸ス、虞芮田ヲ爭フ、
二國ノ名、虞ハ、今ノ陝州ノ平陸縣ニ
アリ、芮ハ、今ノ同州ノ馬湖縣ニアリ
決スル能ハス、乃チ周ニ如ク、界ニ入
テ畔ス者ヲ見ルニ、皆ナシ、畔ヲ遜ル、民
俗皆ナ長ニ讓ル、二人慙ス、相ヒ謂テ
曰ク、吾カ争フ所ハ、周人ノ耻ル所ナ

リト、乃チ西伯ヲ見スシテ還ル、俱ニ
其田ヲ讓テ取ラス、漢南、西伯ニ歸ス
ル者四十國、皆ナシ、以テ受命ノ君
ナリト。漢水、興元府、沓冢山ニ出ツ、漢
ル天下ヲ三分ニシ、其ノ二ヲ有ツ、天
九州、文王ニ歸スル者、六州、惟呂尚ト
青、兗、冀、尚ヲ紂ニ屬スルノミ、呂尚ト
云者アリ、呂ハ姓、尚ハ名、東海社ノ人ナリ
東海、冀州、窮困ノ年老ヲ、漁釣メ周ニ
至ル、西伯、將サニ獵セントス、之ヲ射
ス、曰ク、龍ニ非ス、麋ニ非ス、熊ニ非ス、
羆ニ非ス、虎ニ非ス、猨ニ非ス、獲ル所

師尚父師尚父太
師尚父師尚父太
尚尚可可尚尚父父太
スス兵兵威威ヲヲ示示スス
ナナススリリ

ハ、霸王ノ輔多ナラント、果多ノ呂尚ニ滑
水ノ陽ニ遇多フ渭水渭州、渭源縣ノ鳥
湖縣ニ至ル、河陽水與ニ語テ大ニ悅
テ曰ク、吾カ先君太公多古ハ父ヲ稱ス
ヨリ曰ク、當サニ聖人アリ、周ニ適ク
ヘシ、周、因テ以テ興ラント、子、真ニ是
レカ、吾カ太公、子ヲ望ムコト久シト、故
ニ之ヲ號シテ太公望ト曰フ、載テ與ニ
俱ニ歸ル、立テ、師ト為ス之ヲ師尚
父ト曰フ、西伯卒ス、子發立ツ、是ヲ武
王多トナス、東ノ方、兵ヲ觀シテ孟津ニ至

王屋王屋云々王屋
ハ、王屋王屋居ル王屋
ノ屋ノ屋流ハハ行ナ
リ、魄魄然然ハ、安安定定
ノ意ノ意ナリ、或或人人
ノ名ノ名、河河南南ノ山
ノ里ノ里ニニアアリリト
五里五里ヲ改改メメト
峻峻ナリナリ

木主木主神主神主ナリ、
武王武王紂紂ヲ伐伐チチ

ル孟津孟州、河
陽縣ニアリ、白魚アリ、王ノ舟中ニ
入ル、王、俯ノ取テ以テ祭ル、魚ハ介鱗
象ナリ、白ハ、殷家ノ正色、王ノ舟ニ入
ハ、是レ殷ノ命、周ニ歸スルノ象ナリ
既ニ渡ル、火アリ、自テ上テ、下ニ復ス、
王屋ニ至ル、流テ鳥トナル、其ノ色赤
ク、其聲魄然ナリ、鳥、孝徳アリ、武王父
鳥瑞臻ル、赤ハ、是ノ時、諸侯、期セズノ
周ノ正色ナリ、是ノ時、諸侯、期セズノ
會スル者八百、皆ナ曰ク、紂、伐ツ可シ
ト、王曰ク、汝未ク天命ヲ知ラス、未可
ナリト、乃チ引歸ル、紂、悛ス、王乃チ紂
ヲ伐ツ、武王位ニ即テ十三、西伯ノ木

乃チ父ノ志ヲ
繼ク故ニ文王
ノ神主ヲ載セ
テ以テ行クナ
リ我大逆ヲナ
ト曰フ兵猶ホ
殺ノコトキナ

宗主ナリ餓祿
ヲ食ハスノ其
身ヲ終ラフ謂
ル餓餓ノ死ス
ニ非ルナリス



伯夷叔齊馬ヲ
諫ル圖

主ヲ載テ行ク、伯夷、叔齊、伯夷、叔齊、姓
二居ルノ稱名ハ、允、字ハ、公、信、謚ノ、夷、
ト曰フ、叔ハ、其弟ナリ、名ハ、智、字ハ、公、
達、謚ノ、齊、ト曰フ、孤馬ヲ啣テ、諫テ、曰
ク、父死ノ葬ラス、爰ニ干戈ニ及フ、孝
ト謂フ可ケンヤ、臣ヲ以テ君ヲ弑ス
ル、仁ト謂フ可ンヤト、左右之ヲ兵セ
ント欲ス、太公ノ曰ク、義士ナリト、扶
テ之ヲ去ラシム、王、既ニ殷ヲ滅メ、天
子ト為リ、古公ヲ追尊メ、太王ト為シ、
公季ヲ、王季ト為シ、西伯ヲ、文王ト為
ス、天下、周ヲ宗トス、武王、既ニ殷ニ勝
改

メ、建子ノ月ヲ以テ正月トナス、色ハ、
赤ヲ尚フ、牲ハ、騂ヲ用ユ、赤ヲ以テ徽
ヲ服シテ、玄衣ス、冕、伯夷、叔齊之ヲ耻
ヅ、周ノ粟ヲ食ハス、首陽山ニ隠ル、首陽
山、河、中、府、河、東、
縣、ノ、南、ニ、アリ、歌ヲ作テ、曰ク、登彼、西
山、兮、采、其、薇、矣、以、暴、易、暴、兮、不、知、其、非
矣、神農、虞、夏、忽、焉、没、兮、我、安、適、歸、矣、吁
嗟、徂、兮、命、之、衰、矣、ト、言ハ、武ノ暴、臣ヲ
易フテ、節ラ、其、非ヲ、知ラ、ス、神農、虞、夏、
已ニ没メ、禪讓ノ道、忽焉ト、湮没ス、
乃チ此ノ君ノ争奪ニ逢フ、故ニ我レ、
安ニ力適ノ歸セシ、今、日、餓死スルモ、亦
是レニ運命ノ衰テ、大道、遂ニ餓テ死ス、
ノ世ニ遇ハサルナリ、遂ニ餓テ死ス、
武王在位七年ニ崩ス、太子誦立シ、

三代周 三七

〔孺〕推ナリ成王

〔武庚〕金ヲ誅ス事
書見ユ
二書見ユ

是ヲ〔成王〕ト為ス、成王幼シノ年十三即
周公武王ノ弟、冢宰ニ位シ、政ヲ攝
ス、冢宰ニ邦治ヲ掌トル、百官管叔、蔡叔
管叔、鮮、蔡、叔、度、皆武王ノ弟、既ニ殷
二管叔、鮮、蔡、叔、度、皆武王ノ弟、既ニ殷
信メ曰ク、公將サニ孺子ニ利アラス、
武庚ト亂ヲ作ントスト、武庚ハ、武王
ノ立ル所、紂カ子、祿父、殷ノ後タル
者ナリ、周公東征メ、武庚、管叔ヲ誅シ、
蔡叔ヲ放ク、王長メ能ク政ヲ聽ク、周
公政ヲ歸ヘス、成王朝ニ臨ム、周公北
面ノ臣位ニ就ク、初メ武王、鎬京ヲ作

〔初〕者凡ソ始
言者此年ノ始
二言者此年ノ始
始ル所ヲ推スリ
ナリ、後凡ソ推スリ
ヨリ、先キト云
者亦此ニ倣ヘ

ル之ヲ宗周ト曰フ、是ヲ西都トナス
〔鎬京〕豊邑ノ東、二十五里、將サニ洛邑
ニアリ、王都ヲ京ト曰フ、將サニ洛邑
ヲ營ントス、未夕、彫サス、王、武王ノ志
ノ如クセシト欲ス、召公奭ハ、遂ニ宅
ヲ相ル、周公、洛ニ至リ、王城ヲ築ク、是
ヲ東都トナス、〔洛〕水ハ、商州ノ洛南縣、
至リ、河ニ入ル、王家領山ニ出ツ、鞏縣ニ
洛陽ト曰フ、其地、前ハ、伊、闕ニ直リ、後
ハ、邙山ニ據ル、左ハ、溇、右ハ、澗、洛水、其
ノ中ヲ貫ク、以テ、天、漢ニ象トル、武王、
都邑ヲ營ンク、志テ、卒テ、未ク、成ラズ、
王、遂ニ、其ノ志ヲ、卒テ、未ク、成ラズ、
郊、鄆ト云フ、此ノ地ナリ、洛ハ、天下ノ
餘ハ、召詰ノ傳文ニ見ユ、洛ハ、天下ノ
中ト為ツテ、四方入貢ノ道、里均キヲ

三譯兩蕃ノ語
ト曰フ三譯ヲ
重ヲ過ルトハ三
國ヲヨリナリ
厭スルノ名ナ
リ黄者老人ノ
白ノ復ク黄ナ
リ面ノ常ニ垢
トク故ニ黄者
ト曰フ烈風淫
雨暴風ヲ烈ト
曰フ大兩ヲ烈
ト曰フ

以テナリ、王、西都ニ居マシテ、諸侯ヲ
東都ニ會ス、周公、召公、成王ヲ相ケテ、
左右ノ人トナリ、陝州、河南ヨリ以西、
召公之ヲ主トル、陝ヨリ以東、周公、是
ヲ主トル、交趾ノ南ニ、越裳氏アリ、
郡、本ト南粵ノ地、武帝ノ元鼎六年、三
ニ置ク、越裳ノ國、又其ノ南ニリ、三
譯ヲ重テ来ル、白雉ヲ獻ス、曰ク、吾レ
命ヲ國ノ黄者ニ受ク、黄者曰ク、天ニ
烈風淫雨ナシ、海波ヲ揚サル、三年、
意ニ者、中國ニ聖人アラシカト、周公
之レヲ王ニ歸シ、先王ノ靈神ヲ稱シ

軒車ニ四面
ノ屏蔽アリ、
車ト曰フ、
歳一周ヲ、
曰フ、

宗廟ニ薦ム、周公、錫ニ軒車五乘ヲ以
テス、皆ナ指南ノ制ヲナス、使者之レ
ニ載ル、扶南、林邑ノ海際ヨリ、扶南、林
南、寶ニ暮年ニノ國ニ至ル、故ハ、指南
車、常ニ為メニ先導ス、以テ遠人ヲ服
メ、四方ヲ正スアルヲ示ス、四方ヲ正
スニ取ルユヘシナリ、成王、在位三十七
年ニメ崩ス、子、庚王、釗立ツ、成康ノ際、
天下安寧、刑措テ四十四年用ヒス、康
王、在位二十六年ニメ崩ス、子、昭王、暉
立ツ、昭王南ノ方巡狩メ楚ニ至ル、膠

幸ト曰フ得ル又
馬ト曰ク絶地曰
宵ト曰ク起景曰
光ト曰ク騰霧曰
久ト曰ク騰霧曰

舟ヲ以テ之ヲ載ス、溺テ返ラス、在位
五十二年、昭王、徳衰フ、南征メ、漢ヲ濟
テ、至ル、膠液テ船解ク、中子、**穆王**、以
立ツ、造父ト云者アリ、善ク御スルヲ
以テ、王ニ幸セラル、ハ駿馬ヲ得テ天
下ニ遊行ス、將サニ皆ナ、**神轍**、馬跡ア
ラントス、王、西ニ巡ル、世ニ傳ス、此ノ
時ヲ以テ、**西王母**ニ**瑤池**ノ上ニ觴シ
ト、**徐ノ偃王**、**東方**ノ諸侯、**徐子ナリ**、亂
ヲ作ス、造父、王ニ御トメ、**長驅**メ歸テ

荒服九州ノ外
テ一者服ハ見
スル者服ハ見

亂ヲ救ヒ、**楚**ニ告テ、**徐**ヲ伐クシム、**徐**
敗ル、王、將サニ**犬戎**ヲ西夷ノ名征セシト
ス、**祭公謀父**ノ**祭**、**畿内**ノ國、**周公**ノ後、**王**
諫テ曰ク、先王、**徳**ヲ**輝**ノ兵ヲ觀ズト、
王、聽カス、**之**ヲ征ス、**四ノ白狼**、**四ノ**
白鹿ヲ得テ以テ歸ル、是ヨリ荒服至
ラス、諸侯睦カラス、在位五十五年ニ
ノ崩ス、子**共王**、**繁扈**立ツ、在位五十二
年ニノ崩ス、子**懿王**、**鞠**立ツ、在位二十
五年ニノ崩ス、弟**孝王**、**辟方**立ツ、在位
十五年ニノ崩ス、子**夷王**、**燹**立ツ、始テ

諸侯ヲ見ル是
ヨリ王室衰微
シ、王威下替
タル僭犯ナリ
凡ソ支分ニ非
スレテ上ヲ犯
ス、僭ト曰フ

堂ヲ下テ諸侯ヲ見ル楚始テ僭ノ王
ト稱ス夷王在位十六年ニ崩ス子
厲王胡立ツ無道ニ暴虐侈傲ナリ
國人王ヲ謗ル王怒テ衛ノ巫ヲ得テ
國人ノ謗者ヲ監セシム以テ告レハ
則チ之ヲ殺ス道路目ヲ以テス王喜
テ曰ク吾レ能ク謗ヲ弭ト或人曰ク
是レ障クナリ民ノ口ヲ防クハ川ヲ
防クヨリ甚シ水壅ツテ潰レハ人ヲ
傷ルト必ス多シト王聽カス是ニ於
テ國人相與ニ畔ク王薨ニ出奔ス

共和ト曰フニ
相太子靜尚テ
幼ナルヲ以テ
乃チ相與ニ協
和シ共ニ國事
ヲ理ム因テ以
テ其年ヲ名ツ
ケテ共和ト謂
フ凡ソ十四年

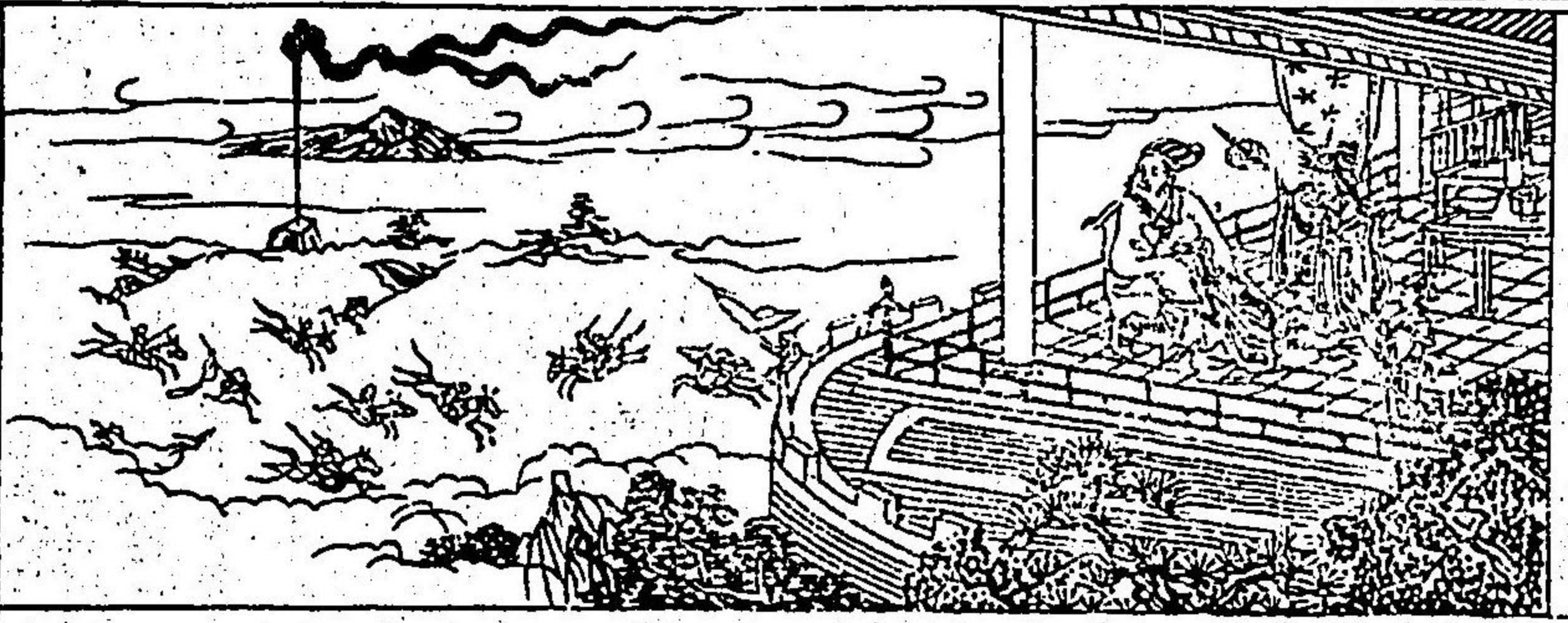
河東ニ屬ス二相周召周公且召公奭
今ノ霍邑縣ニ周室ヲ輔相スル
者皆ナ通稱シテ周召ト曰フ
ノ共ニ國事ヲ理ム其年ヲ號シ共和
ト曰フ者十四年王薨ニ崩ス在位三
十七年子宣王靜立ツ賢ニ任シ能ク
使フ召穆公方叔尹吉甫仲山甫等
リ政ヲ内外ニ為ス召穆公名ハ虎出
叔荆蠻ヲ南征ス尹吉甫獵ヲ平ク方
北伐ス仲山甫以テ袞職ヲ補フ王化
復ク行ハル周室中興ス宣王在位四
十六年ニ崩ス子幽王宮涅立ツ初
メ夏后氏ノ世ニ二龍アリ庭ニ降ル

文
三十一
三代周

號之高曰火其多(發)ナ即シテニ歴服リ曰(服)氣ノ(發)龍ノ
 トヲキフ遠笑方愛リチ服史ハ箕フ山ナ沫龍ノ
 ナキ處急火笑方ニナ今服ハ箕フ山ナ沫龍ノ
 スケニアヲヲ誘ノトト爲細ノ名補注リ
 以於レハト烽ク以テ方
 テテハト烽ク以テ方

白ク子レハ褒ノ二君ナリト
 リトシテ其ノ蔡ヲ藏ム夏殷ヲ歴テ
 敢テ發クナシ周人之ヲ發ク蔡化ノ
 龜トナル童妾之レニ遇テ蔡ム女ヲ
 生ム之レヲ棄ツ故ニ之ヲ棄ツ育ス宜
 王ノ時ニ童謡アリ曰ク屢弧箕服實
 亡周國ト適ニ是ノ器ヲ鬻者アリ宜
 王之レヲ執ヘシム其人逃ル道ニ於
 テ棄女ヲ見ル其ノ夜號ヲ哀テ之レ
 ヲ取ル褒ニ逸ス幽王ノ時ニ至テ褒
 人罪アリ是ノ女ヲ入ル是ヲ褒似ト

幽王烽火ヲ舉ル圖



ナス王之ヲ廢ス褒姒笑ヲ好マス王
 其笑シトヲ欲ス萬方ニスレハ笑ハ
 ス故ニ王諸侯ト約ス寇ノ至アレハ
 則チ烽火ヲ舉ケ其兵ヲ召テ来リ援
 シム乃チ故ナクソ火ヲ舉ク諸侯悉
 ク至ル而ルニ寇ナシ褒姒大ニ笑テ
 王申后及ヒ太子宜臼ヲ廢メ褒姒ヲ
 以テ后トナス其ノ子伯服ヲ太子ト
 ナス宜臼申ニ奔ル申母姜姓ノ國宜臼
 信陽軍ノ王之レヲ殺サシヲ求ム得
 ス申ヲ伐ツ申侯犬戎ヲ召テ王ヲ攻

〔徵〕召スナリ

〔并〕併ト同シ後
皆ナ此ニ倣ヘ

ム、王、烽火ヲ舉テ兵ヲ徵ス、至ラヌ、犬
戎王ヲ驪山ノ下ニ殺ス、〔驪山〕華州ノ
滑南縣ニア
リ、古ノ驪戎ノ居ル
所、故ニ驪ト曰フル
在位十一年、諸侯
宜臼ヲ立ツ、是ヲ〔平王〕トナス、西都ノ
戎ニ逼ラテ以テ、徙テ東都ノ王城ニ居
マヌ、時ニ周室衰微ス、齊、楚、秦、晉、更ニ
征伐ス、天子
制スルア諸侯、強ハ、弱ヲ殽ス、齊、楚、秦、
晉、始メテ大ナリ、平王ノ四十九年ハ、
即チ魯ノ隱公ノ元年ナリ、其ノ後、孔
子春秋ヲ修ムル、此ニ始マル、平王、在
位五十一年ニ崩ス、太子ノ子〔桓王〕

〔霸〕諸侯ノ權ヲ
持ス、霸ト曰フ

〔林〕立ツ、在位二十三年ニ崩ス、子〔莊
王〕立ツ、在位十五年ニ崩ス、子〔釐
王〕胡齊立ツ、齊ノ桓公、始メテ霸タリ、
釐王、在位五年ニ崩ス、子〔惠王〕闚立
ツ、在位二十五年ニ崩ス、子〔襄王〕鄭
立ツ、晉ノ文公、始テ霸タリ、襄王、在位
三十三年ニ崩ス、子〔頃王〕壬臣立ツ、
在位六年ニ崩ス、弟〔定王〕瑜立ツ、楚
ノ莊王、人ヲノ鼎ノ輕重ヲ問ハシム
禹ノ九鼎ハ、猶ホ後世ノ傳國璽ノコ
トキナリ、鼎ノ問ハ、周ノ天下ヲ奪フ
ルノ志アリ、王孫滿之レヲ弔ク、徳ニアリ

〔殺〕卒ナリ

ラズ、及ヒ鼎ノ輕重ハ、閉ノ可ラサル
ノ語アルナリ、詳ニ左傳ノ宣公カ三
年ニ定王、在位二十一年ニ崩ス、子
見ユ
〔簡王夷〕立ツ、吳、壽始テ僭ノ王ト稱ス
簡王、在位十四年ニ崩ス、子〔靈王泄
心〕立ツ、二十一年ニ孔子生ル、即チ魯
ノ襄公ノ二十二年ナリ、靈王、在位二
十七年ニ崩ス、子〔景王貴〕立ツ、在位
二十五年ニ崩ス、子〔悼王猛〕立ツ、庶
弟〔朝〕之レヲ弑ス、晉人、子朝ヲ攻テ
〔敬王丐〕悼王猛ノ庶弟ヲ立ツ、四十一年ニ孔
子歿ス、敬王、在位四十四年ニ崩ス

〔襲〕其ノ備ヘサ
ルヲ掩ス、襲ト
曰フ

子〔元王仁〕立ツ、在位七年ニ崩ス、子
〔貞定王介〕立ツ、在位二十八年ニ崩
ス、子〔哀王去疾〕立ツ、弟〔思王叔帶〕襲テ
之ヲ弑シ、自立ス、思王、在位二十五年
ニ崩ス、子〔威烈王午〕立ツ、晉ノ趙氏、
魏氏、韓氏始メテ侯タリ、周、東遷ヨリ
以來、是ニ及フ二十世ニ愈微ナリ、
諸侯、兵ヲ用ヒ、強ヲ争フ、號メ戰國ト
ナス、威烈王、在位二十四年ニ崩ス、
子〔烈王喜〕立ツ、在位七年ニ崩ス、弟
〔顯王扁〕立ツ、諸侯皆テ僭メ王ト稱ス、

從地約關東
六國共秦六國
居相親秦從
合從之曰關
西秦獨橫之
居秦獨橫之
相約破關秦
從約破關秦
ノ故曰頻首頓
曰フ、頓首頓首
曰フ、頓首頓首

子慎、鄭王、定、立、在位六年、崩、
子、報、王、延、立、五十九年、諸侯、從、
、約、秦、攻、秦、昭、王、周、攻、
、報、王、秦、奔、頓、首、罪、受、盡、
、其、邑、獻、秦、獻、受、テ、報、王、周、
、歸、へ、ス、以、テ、卒、ス、周、天、子、ク、ル、三、十、
、七、世、初、ノ、夏、ノ、亡、ル、ト、キ、九、鼎、殷、遷、
、ル、殷、ノ、亡、ル、ト、キ、周、二、遷、ル、成、王、鼎、
、ヲ、郊、廓、ニ、定、ム、ト、曰、ク、世、ヲ、傳、ル、三、
、十、年、ヲ、歷、ル、七、百、一、是、ニ、至、テ、乃、チ、其、
、ノ、歷、ヲ、過、ク、凡、テ、八、百、六、十、七、年、

十二列國魯衛
晉鄭曹蔡燕齊
宋陳楚秦
吳後楚秦
通後楚秦
數、ス、故、之、ヲ

田齊田氏齊

春秋戰國

春秋戰國、平、王、以、後、
、周、之、衰、也、魯、之、微、也、
、齊、之、亂、也、晉、之、弱、也、
、楚、之、強、也、宋、之、亡、也、
、鄭、之、滅、也、衛、之、亡、也、
、燕、之、亡、也、秦、之、強、也、
、趙、之、強、也、魏、之、強、也、
、韓、之、強、也、
、周、之、衰、也、魯、之、微、也、
、齊、之、亂、也、晉、之、弱、也、
、楚、之、強、也、宋、之、亡、也、
、鄭、之、滅、也、衛、之、亡、也、
、燕、之、亡、也、秦、之、強、也、
、趙、之、強、也、魏、之、強、也、
、韓、之、強、也、
、周、之、衰、也、魯、之、微、也、
、齊、之、亂、也、晉、之、弱、也、
、楚、之、強、也、宋、之、亡、也、
、鄭、之、滅、也、衛、之、亡、也、
、燕、之、亡、也、秦、之、強、也、
、趙、之、強、也、魏、之、強、也、
、韓、之、強、也、

下方以下ノ方

史記ノ世家ノ吳ノ太
伯世家ニ云ク季
札ノ初メ使ス過
ル北徐君ニ過
ル徐君季札ノ過
劔ヲ好ス季札
ヲ言ハス季札
心ニ之ヲ知ル
上國ニ使スル
為メ未タ獻セ
ス還テ徐君ニ
ス徐君已テ至
ル徐君是於テ
死ス徐君是於
之ヲ徐君去ル
樹ニ繫テ去ル
從者ノ曰ク尚
ヲ誰子ノ曰ク
ト季子曰ク然

吳

子姫姓、大伯、仲雍ノ封セラル所ナリ
平江ニ都ス〔平江〕明ノ南十九世ニ
壽夢ニ至リ、始テ王ト稱ス大伯ハ太
國ヲ讓テ逃ル其ノ後、仲雍、季簡、叔達、
周章、熊遂、柯相、疆鳩、夷餘、橋疑、吾柯、廬
周、去、齊、ヲ歴テ壽夢ニ轉、頗高、句壽夢、四
子アリ、幼ク季札ト曰フ、札、賢ナリ、三
子ヲノ相繼テ立シメ、以テ札ニ及シ
ト欲ス〔三子〕長ク、諸樊ト曰フ、札、義ヲ
以テ可カズ、延陵ニ封セララル〔延陵〕郡

二繫ラス、盡クニ載ルニ難シ、周ノ
下、方ニ附見ス、其レ時ニ欲先從
アリ、則チ觀者之、

心ニ已テニ死
ラ許ス、豈ニ
ラ以テ吾カニ
ニ倍シヤト
〔上國〕中國
扶差薪中ニ卧
ス圖



屬ス、今號ノ、延陵ノ季子ト曰フ、上國
ニ聘ノ、徐ヲ過ク〔徐〕國、徐君、其ノ寶劍
ヲ愛ス、口敢テ言ハス、季子、心ニ之ヲ
知ル、使ノ還ル、徐ニ至ル、徐君、已テニ
歿ス、遂ニ劍ヲ解キ、其ノ墓ニ懸テ去
ル、壽夢ノ後、四君ニノ〔四君〕諸樊、餘祭、
闔廬ニ至ル〔闔廬〕諸樊ノ子、僚、伍員ヲ
舉テ、國事ヲ謀ラシム、員、字ハ、子胥、楚
人、伍奢ノ子ナリ、奢、誅セラレテ、吳ニ
奔ル、吳ノ兵ヲ以テ、郢ニ入ル〔郢〕楚ノ
府、江陵、吳、越ヲ伐ツ〔越〕蠻夷ノ國、闔廬、傷

圖 勾踐膽ヲ嘗ル



ツイテ死ス、子夫差立ツ、子胥復タ之
 ニ事フ、夫差、離ヲ復セシト志ス、朝
 薪中ニ卧ス、出入ニ人ヲノ呼ハシメ
 テ曰ク、夫差、而越人ノ而カ父ヲ殺セ
 ルヲ忘タルヤト、周ノ敬王二十六年
 ニ、夫差、越ヲ夫椒ニ敗ル〔夫椒〕吳越王
 勾踐、餘兵ヲ以テ、會稽山ニ棲ニ〔會稽山〕
 ユニ見請ラク臣ト為リ、妻ハ妾トナラ
 ント、子胥カ言ク、不可ナリト〔德〕
 ニ如クナク、疾ヲ去ルハ、盡ニ如クナ
 キノ語アリ、詳ニ左傳ノ哀公ノ元
 ユニ見、太宰伯嚭〔太宰〕官名、越ノ賂ヲ受

膳ヲ仰キ頭ヲ
 仰テ、膳ヲ嘗ル
 フ謂ナリ之ヲ
 嘗ム、飲食ニ、輒
 ナ膳ヲ嘗ム、以
 テ苦ヲ示スナリ

屬鏤劍ノ名

ケ、夫差ニ説テ越ヲ赦ス、勾踐、國ニ反
 リ、膳ヲ坐ニ懸ケ、坐卧ニ即チ膳ヲ仰
 キ、之ヲ嘗テ曰ク、女會稽ノ耻ヲ忘タ
 ルヤト、國政ヲ舉テ、大夫種ニ屬シテ、
 范蠡ト與ニ兵ヲ治ム〔大夫種〕范蠡、吳
 フ謀ルヲ事トス、太宰嚭、子胥ヲ諫ス
 周ノ敬王三十六年、吳將サニ齊ヲ伐
 シトス、子胥、諫テ曰ク、越、我レニ在テ
 ハ心腹ノ疾ナリ、早ク克ニ、猶ホ石田
 ニ如カス、志ヲ齊ニ得ルニ、猶ホ石田
 フ得ル如キナリ、之ヲ用ユルハ、泥ト
 越、沼トナラシム、ハ、其レ泥ト
 聽カス、諫、曰、謀ノ用ラレサルヲ耻
 テ之ヲ講ス、夫差、乃チ子胥ニ屬鏤ノ劍

劍ヲ賜フ以テ自殺セシ

扶出ナリ賜夷馬革囊ナリ生聚云云民ヲ富テ而後聚之ヲ教ユ北敗走ナリ成和ナ

以テ子香ヲ見ルナケシ果シテ料ル所ノ如クシ故ニ之ヲ見ラシ蓋ツ之ヲ見ラシ慎冒面衣ナリ帛ヲ以テ之ヲ為ル方尺ニ寸、四角ニ繫アリ、後ニ於テ之ヲ結フ鳥喙ニハ、孝鳥純黒ニ、又哺スル者ヲ、鳥ト曰フ、小ル者ヲ、哺セサ、ハ口ナリ

ヲ賜フ、子香其ノ家人ニ告テ曰ク、必ス吾カ墓ニ櫛ヲ樹ヘヨ、櫛ノ材トナル可キニヤ、吳ハ其亡ンカ、吾カ目ヲ抉テ、東門ニ懸ケヨ、以テ越兵ノ吳ヲ滅スヲ觀シト、乃チ自斃ス、夫差其尸ヲ取り、盛ニ鵠夷ヲ以テメ、之ヲ江ニ投ス、吳人、之ヲ憐ミ、祠ヲ江上ニ立テ、論ノ香山ト曰フ、越、十年生聚シ、十年教訓ス、周ノ元王ノ四年ニ、越、吳ヲ伐ツ、吳、三タヒ戰テ、三タヒ北ク、夫差、姑蘇ニ上リ、姑蘇臺、吳亦滅ヲ越ニ請ス

范蠡可カス會誓ノ夷、越ヲ以テ、吳ヲ以テ、越ヲ以テ、越ニ賜フ、豈ニ逆フ可ケンヤ、且ツ天ノ與ルヲ取ラスハ、又テ其咎ヲ受ケンノ語アリ、夫差ノ曰ク、吾史記ノ世家ニ見ユ、以テ子香ヲ見ルナケシト、慎冒ヲ為テ、乃チ死ス、吳、太伯ヨリ夫差ニ至ル、凡テ二十五世ニ亡フ、越、既ニ吳ヲ滅ス、范蠡之ヲ去ル、大夫種ニ書テ遺テ曰ク、越王ノ人ト為リ、長頸鳥喙、與ニ患難ヲ共ニス可シ、與ニ安樂ヲ共ニス可ラス、子何ソ去ラサルト、種疾ト稱ノ朝セス、或人種ヲ讒ス、且サ

春秋左傳卷之... 春秋戰國吳

私徙家衆ナリ
鴟夷子皮ノ盛
子晉ノ殺ヲ以
ルニ鴟夷ヲテ
テス今蠡自テ
罪アルヲ以テ
號トナスナリ
嗚然歎スル
聞行潛行ナリ

亂ヲ作サントスト、劔ヲ賜テ死ス、
范蠡其ノ輕寶珠玉ヲ装シテ、私從ト
舟ニ江湖ニ衆シ、海ニ浮テ齊ニ出テ
姓名ヲ變シテ、自ラ鴟夷子皮ト謂ス、
父子産ヲ治ム、數千萬ニ至ル、齊人其
ノ賢ヲ聞キ、以テ相トナス、蠡、嗚然ト
ノ曰ク、家ニ居テハ千金ヲ致シ、官ニ
居テハ卿相ヲ致ス、此レ布衣ノ極ナ
リ、久ク尊名ヲ受ルハ不祥ナリト、乃
チ相ノ印ヲ歸シ、盡ク其財ヲ散シ、重
寶ヲ懷テ間行シ、陶ニ止マル陶今定陶縣

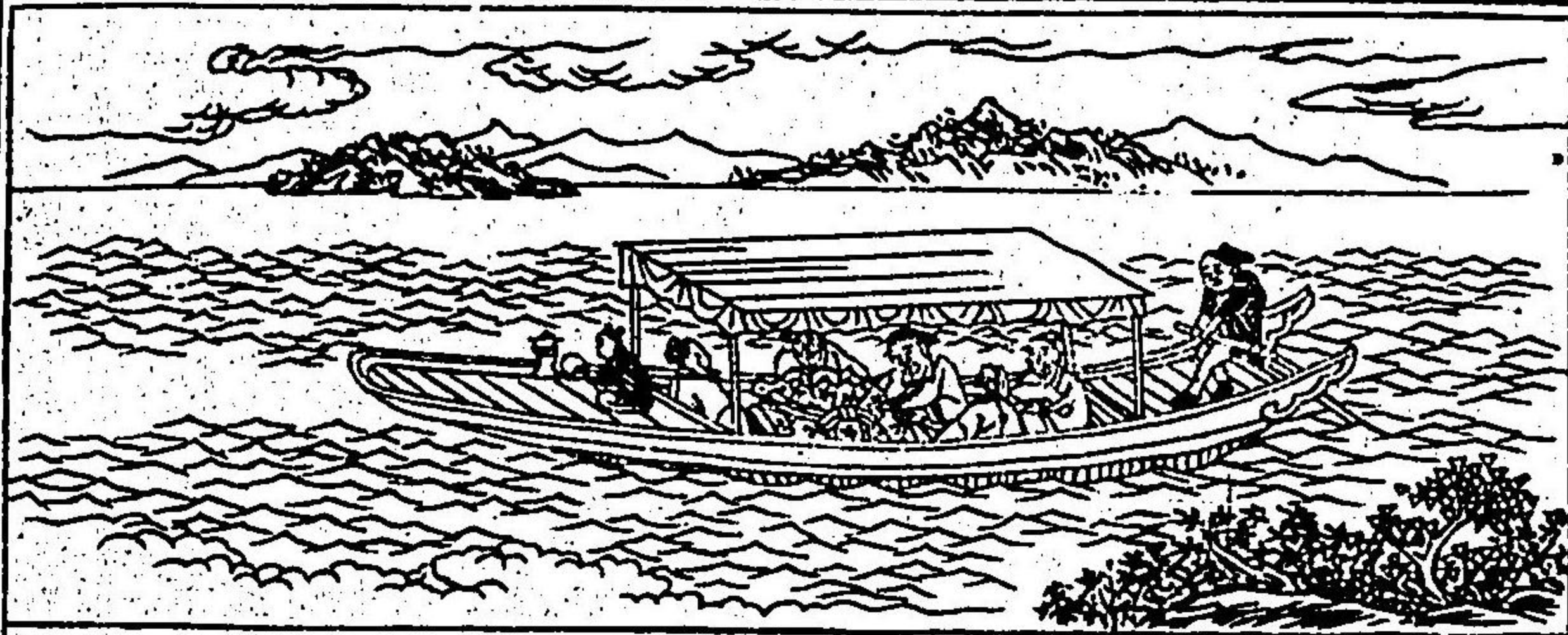
鉅萬猶ヲ萬々
ト言フコト
術ヲ問フ財ヲシ
生スルノ術ヲ
問フ術ヲシ
之ヲ北ナリ、多ク
之ヲ畜ヘハ、則
チ生育必ス蕃
シ王公ニ擬ス
ナリ王公ノ富アル

率循ナリ、仲德
ク祖文王ノ德
ニ循ヒ、父蔡叔
ノ行ヲ改ム

曹州ニ自ラ陶朱公ト謂フ、鑽鉅萬ヲ
屬ス、魯人倚頓姓ナリ往テ術ヲ問フ、蠡
ノ曰ク、五牲ヲ蓄ヨト、乃チ大ニ牛羊
ヲ倚氏ニ畜フ、十年ノ間ニ、貴王公ニ
擬ス、故ニ天下ノ富ヲ言フ者ハ、陶朱
倚頓ヲ稱ス

蔡侯姫姓、蔡仲ノ封セラル、所ナリ、周
公、蔡叔ヲ郭鄰ニ放ツ郭鄰、中國地名、其子
胡、仲ノ德ニ率ヒ、行ヲ改ム、復ク蔡ニ
封セラル、汝寧ニ都ス汝寧、明ノ河後
世、春秋ノ末元侯ニ至テ、楚ノ惠王ノ

范蠡泛湖ノ圖



為メニ滅サル蔡叔度ヨリ元侯ニ至ル凡テ二十四世

曹侯姬姓武王ノ弟曹叔振鐸ノ封セラ

ル所ナリ定陶ニ都ス定陶明州府

縣其ノ後世春秋ノ中コロ伯陽ニ至

テ宋ノ為メニ滅サル曹叔振鐸ヨ

リ伯陽ニ至ル凡テ二十六世

宋公子姓商紂ノ庶兄微子啓ノ封セラ

ル所ナリ睢陽ニ都ス睢陽明州府

後世春秋ニ至テ襄公茲父ト云者ア

リ諸侯ニ覇クラント欲ス楚ト戦フ

公子目夷襄公ノ庶兄未夕陣セサル

ニ之ヲ撃ント請フ公ノ曰ク君子ハ

人ヲ阨ニ剛メスト遂ニ楚ノ為メニ

敗ラル世笑テ以テ宋襄ノ仁トナス

其ノ後景公ト云フ者アリ熒惑嘗テ

其ノ時ヲ以テ心ヲ守ル心ハ宋ノ分

野ナリ宋ハ豫州ノ域心公之レヲ憂

フ司星官子韋姓曰ク相ニ移ス可シ

ト公ノ曰ク相ハ吾カ股肱ナリ曰ク

民ニ移ス可シト公ノ曰ク君ハ民ヲ

待ツ曰ク歳ニ移ス可シト公ノ曰ク

陣セサル未夕
熒惑火星心
宿經星ナリ相
テ移ラ受ケシ
△民ニ移ス民
クシテ災ヲ受
ツ人君民ヲ待
テ其ノ尊ヲ成
ス歳ニ移ス歳
シテ凶荒セ

饑穀ノ熟セサ
 ルヲ餓トシ、
 鱗鳥トシ、
 類數種アリ
 ノ類、鵲ト
 展ヲ、鵲ト
 祭宋其虐、
 如キヲ謂フ
 ノス、ヒ、
 曰、曰、
 曰、曰、
 曰、曰、

歲饑レハ民困ム、吾レ誰カ為メニカ
 君タラント、子韋ノ曰ク、天ハ高ノ卑
 = 聽久、君人ニ君タルノ言三ツアリ、
 宜ク動クアル可シト、之ヲ候フ、果メ
 徒ト一度ナリ、數世ヲ歷テ、康王偃ニ
 至テ、雀アリ、鱗ヲ生ム、之ヲ占フニ、曰
 ノ必ス天下ニ覇ヲラント、偃喜フ、齊
 楚、魏ヲ敗リ、與ツテ敵國トナル、偃、淫
 虐ナリ、天下之ヲ號メ、桀、宋ト曰フ、周
 ノ赧王ノ時ニ、齊ノ湣王、楚、魏ト共ニ
 宋ヲ伐テ、之レヲ滅シテ、其ノ地ヲ分

周公伯禽ヲ誥
ツ圖



ツ、宋、微子啓ヨリ康王偃ニ至ル、凡テ
 三十二世

魯

侯、姬姓、周公ノ子、伯禽ノ封セラル所

曲阜ニ都ス、曲阜、明ノ山東、兗州府ノ曲阜縣

周公、成王ニ誨ユ、王、過アレハ則チ伯

禽ヲ誥ツ、巴カ子ヲ誥ス伯禽封ニ就ク

トキ、公、之レヲ戒テ曰ク、我ハ文王ノ

子、武王ノ弟、今マ王ノ叔父ナリ、然レ

氏我一沐ニ三夕ヒ髮ヲ握リ、一飯ニ

三夕ヒ哺ヲ吐キ、起キ以テ士ヲ待ツ、

猶ホ恐ラクハ天下ノ賢人ヲ失シ、

〔政ヲ報ス〕猶ホ
述職ノコト

〔北面〕臣ノ禮

フ、子魯ニ之カバ、慎テ國ヲ以テ人ニ
驕ルナカレト、太公齊ニ封セラル、五
月ニノ政ヲ報ス、周公ノ曰ク、何ソ疾
カナルヤ、曰ク、吾レ其ノ君臣ノ禮ヲ
繚ニシ、其ノ俗ニ從フト、伯禽魯ニ至
ル、三年ニノ政ヲ報ス、周公ノ曰ク、何
ソ遲キヤ、曰ク、其ノ俗ヲ變シ、其ノ禮
ヲ革ム、喪ハ三年ニシテ而テ後ニ之レ
ヲ除クト、周公ノ曰ク、後世其レ北面
ノ齊ニ事ヘンカ、夫レ政ハ簡ナラズ
易ナラサレハ、民近ツク能ハス、平易

〔寢〕漸ナリ

ニノ民ヲ近ツクルトキハ、民必ス之
ニ歸スト、周公、太公ニ問フ、何ヲ以テ
カ齊ヲ治ムル、曰ク、賢ヲ尊テ功ヲ尚
フ、周公ノ曰ク、後世必ス篡弒ノ臣ア
ラント、太公、周公ニ問フ、何ヲ以テカ
魯ヲ治ムル、曰ク、賢ヲ尊テ親ヲ親ト
ス、太公ノ曰ク、後寢ク弱ナラント、伯
禽ヨリ十三世ニシテ隱公ニ至ル、春秋
ノ始トナス、伯禽ヨリ以下、考公、熙公、
懿公、伯御、考公、惠公、厲公、獻公、真公、
隱公ニ至ル、十三世トナス、隱公ノ弟
フ桓公ト曰フ、桓公ノ子ハ莊公、莊公

國命命ハ、命令
ナリ、國命ヲ執
ルハ、世國權ヲ
執テ威服ヲ作
スナリ

庶弟三人アリ、曰ク、慶父、其ノ後ヲ
孟孫氏トナス、曰ク、叔牙、其ノ後ヲ
孫氏トナス、曰ク、季友、其ノ後ヲ
季孫氏トナス、是ヲ三桓トナス、世
國命ヲ執ル、子班、閔公、僖公、文公、宣公、
成公、襄公ヲ歴テ、昭公ニ至ル、季氏ヲ
伐ツ、三家反テ共ニ公ヲ伐ツ、公、乾侯
ニ奔ル、以テ卒ス、〔乾侯〕晉弟定公立ツ、
孔子ヲ以テ中都ノ宰トナス、一年ニ
メ四方ノ諸侯、皆ナ之ニ則トル、〔中都〕
平ニ属ス、〔宰〕邑長ナリ、大夫ト曰ク、
ト曰ク、長ト曰ク、尹ト曰ク、即チ今ノ

〔具〕備ナリ

知縣中都ヨリノ司空トナル、〔司空〕官、
掌トル、〔四民〕居進テ大司寇トナル、
〔大司寇〕官、邦禁ヲ掌トル、定公ヲ相ク、
テ齊侯ニ夾谷ニ會ス、〔夾谷〕今ハ夾山、
郡ニ孔子ノ曰ク、文吏アル者ハ、必武
備アリ、請フ左右ノ司馬ヲ具テ、以テ
從ハシ、〔左右司馬〕官、邦政ヲ掌トル、
既ニ會ス、齊ノ有司、請テ四方ノ樂
ヲ奏ス、是ニ於テ、旗、旄、劍、戟、鼓、譟ノ至
ル、孔子趨テ進ミ、曰ク、吾カ兩君好ラ
ナス、夷狄ノ樂、何為ソ此ニ於テセシ

〔魔〕指魔ノ其ヲ
ノ退カシム優
倡ノ俳優ノ伎
儒短人ナリ

定公齊公ニ夾
谷ニ會スル圖



ト、齊ノ景公、心ニ怍テ之ヲ魔ク、齊ハ
有司、請テ宮中ノ樂ヲ奏ス、優倡侏儒
戲テ前ム、孔子趨テ進ミ曰ク、匹夫諸
侯ヲ熒惑スル者ハ、罪當サニ誅スヘ
シ、請フ有司ニ命シテ、法ヲ焉ニ加ヘ
ト、首足、處ヲ異ニス、景公懼ル、歸テ
其ノ臣ニ語テ曰ク、魯君子ノ道ヲ以
テ其ノ君ヲ輔ク、而ルヲ子獨夷狄ノ
道ヲ以テ寡人ニ教ユト、是ニ於テ、齊
人、乃チ侵ス所ノ魯ノ鄆、汶陽、龜陰ノ
地ヲ歸シ、以テ魯ニ謝ス〔侵地〕鄆、龜、



〔熒惑〕迷亂ナリ
ノ處ヲ異ニス其
ノ屍ヲ分ツラ

汶陽ノ田、汶陽ハ、今ノ
泰安州、奉符縣ナリ、孔子、定公ニ言
テ將サニ三都三桓ノ私邑ヲ墮チ以
テ公室ヲ強セんとス、叔孫氏先ソ郈
ヲ墮ツ、季氏費ヲ墮ツ、孟氏ノ臣庚成
ヲ墮ツ肯セス、之ヲ圍ム、克タス、孔
子、大司寇ヨリ相ノ事ヲ攝行ス、七日
ニ、政ヲ亂ル大夫少正卯〔卯〕ハ名、一説ニ居、三月ニ魯ヲ誅ス〔少正〕
ハ姓〔卯〕ハ名、一説ニ居、三月ニ魯
少正〔卯〕ハ名、一説ニ居、三月ニ魯
大ニ治ル、齊人之レヲ聞テ懼ル、乃チ
女樂ヲ魯ニ歸クル、季桓子之レヲ受
ク、政ヲ聽カス、郊メ又膳俎ヲ大夫ニ

謂郊天ヲ祀餘肉ナリ
膳祭ノ餘肉ナ

致サス、孔子遂ニ魯ヲ去ル、定公卒ス、
子哀公立ツ、越ヲ以テ三桓ヲ伐シト
欲ス、克タス、悼公、元公ヲ歴テ、繆公ニ
至テ、子思ヲ尊フヲ知ル、而レ臣用ユ
ルアタハス、共公、康公ヲ歴テ、平公ニ
至ル、孟子ヲ見シト欲シテ、果サス
ノ惠王ノ頃公ニ至リ、楚ノ考烈王ノ
篇ニ見ユ頃公ニ至リ、楚ノ考烈王ノ
為ニ滅サル、魯、周公ヨリ、頃公ニ至
ル、凡テ三十五世○孔子名ハ丘、字ハ
仲尼、其ノ先ハ、宋人ナリ、孔子、姓ヨ
太子弗父何ノ後、何ノ故ニ、其ノ父嘉、米
ノ者ノ為ニ殺サル、故ニ、其ノ父嘉、米

鼎ノ銘考父ノ銘文ノ

饒粥ヲ、饒ト
曰ヒ希ヲ、粥ト
曰フ

再命、而偃三命、而俯偃初ノ命セラ
ノ容、儂ス、再命ノ大夫トナル、其ノ容、俯ス、蓋
シ、三命ノ者ハ、皆ナレバ、其ノ低頭スルナ
リ、而シテ、偃ハ、皆ナレバ、其ノ低頭スルナ
ユ、リ、甚シキナリ、謂、循牆而走、
カシ行、亦莫余敢侮、
於是、粥、於是、以、餽、
後、魯ニ適ク、叔梁紇ト云者アリ、
以テ我カロヲ、餽、孔子、宋ニ滅ス、其
ス、儉ノ至ナリ、孔子、宋ニ滅ス、其
後、魯ニ適ク、叔梁紇ト云者アリ、

畜 獸産ナリ
豆 載ルヲ祭ニ牲ト
曰フ、豆ト曰フ、豆ト曰フ、豆ト



孔子嬉戯スルニ
俎豆ヲ陳ヌル圖

〔統〕ハ 顔氏ノ女ト 尼山ニ 禱テ、孔子ヲ
生ム 〔尼山〕即チ 丘兒タリ シトキ、嬉
戯スルニ 常ニ 俎豆ヲ 陳子、禮容ヲ 設
ク、長ノ 季氏ノ 吏トナル 〔季氏ノ 吏〕吏
作ル、委績 倉料量平ナリ、司 攝吏トナ
ル、畜蕃息ス 〔司攝吏〕犧牲ヲ 繫養スル
乗周ニ 適テ 禮ヲ 老子ニ 問フ、反テ 弟
子 稍ク 益進ム、齊ニ 適ク、齊ノ 景公、將
サニ 待スルニ 季孟ノ 間ヲ 以テ セン
トス、孔子、魯ニ 反ル 定公、之レヲ 用ヒ、
終ヘス 衛ニ 適ク 顔譽 由ノ 家 將サニ

陳ニ 適カシトス、〔匡〕ニ 過ル 〔匡〕宋 匡人、
嘗テ 陽虎 〔陽虎〕姓名、字ハ 貨、カヲ 為メニ
暴セラル、孔子ノ 貌陽虎ニ 類ス、之ヲ
止ムニ 顔淵 後レタリ、文王 既ニ 免テ
衛ニ 反ル 蓬伯玉ノ 語アリ、主 靈公ノ 為
ス所ヲ 醜ム、之ヲ 去ル 衛ノ 靈公、夫人
シ、孔子ヲ 過ク、故ニ 孔子、之ヲ 醜ム、未
ダ、徳ノ 好ム 過ク、見 曹ヲ 過テ、宋ニ 適ク、
弟子ト 禮ヲ 大樹ノ 下ニ 習フ、桓魋ノ 宋
司馬 向魋ナリ、桓公ヨリ 出ス 其ノ 樹ヲ
伐リ 榑ク 又 桓魋ノ 徳ヲ 生ス 鄭ニ 適ク、鄭人

春秋左傳卷之... 春秋左傳卷之... 春秋左傳卷之...

喪家ノ狗主人
哀荒ノ飲食ヲ
見ス故ニ疊々
ル然トメ低垂ス

ノ曰ク、東門ニ人子アリ、其ノ類、堯ニ
似ル、其項ハ、皋陶ニ類ル、其ノ彫ハ、子
産ニ類ル、腰ヨリ以下、禹ニ及ハサル
三寸、纍々然トノ喪家ノ狗ノ如シト
陳ニ適ク、司城貞子ノ父衛ニ適キ
リ、ノ語アルヲ將サニ西ノ方、趙簡子
見シトス、河ニ至ル、〔河〕水、崑崙ノ北ヨ
シ、長城ニ至ル、南ノ方、華陰ニ至ル、滑
漳水ニ合ル、東ノ方、洛汭ニ入リ、又此
海、竇鳴犢、犛華カ殺死ヲ聞
ク、〔竇〕鳴犢、犛華、晉ノ二賢大夫ナリ、趙
簡子未タ志ヲ得サルノ時ニ、此ノ趙
二、人ヲ須テ而ノ後ニ政ニ從フ、其ノ
巳ニ志ヲ得ルニ及ンテ、殺ス

〔洋々〕水ノ流ル

詩ニ云、小雅、何
草不黃ノ、蕭〔兕〕
野牛ニ似テ一
角、色青シ、重サ
千斤

河ニ臨ンテ、歎ノ曰ク、美ナル哉、水、洋
々タル、丘ノ濟ラサルハ、此レ命ナリ
ト、鳥獸ノ不義ニ於ル、人尚ホ之ヲ避
アリ、衛ニ及ル、又蘧伯玉ニ於テ、ヤノ語
リテ、行陳ニ適キ、蔡ニ適キ、葉ニ如キ、〔葉〕
ノ、蔡ニ及ル、沮溺耦畊、丈人篠ヲ楚、人
邑、蔡ニ及ル、荷フ等ノ事アリ、楚、人
ヲノ之ヲ聘セシム、陳、蔡ノ大夫謀テ
曰ク、孔子、楚ニ用ヒラレハ、則チ陳、蔡
ハ危カラント、相與ニ徒ヲ發シ、之ヲ
野ニ圍ム、孔子曰ク、詩ニ云フ、匪兕、匪
虎、率彼曠野、ト吾カ道非ナルヤ、我言レハ、

天子孔子門弟
夫子孔子曰稱
唐虞堯典舜典
秦穆秦誓三百
五篇詩八三百
十一篇ナリ三
百五篇ト云フ
者ハ蓋シ笙ノ
詩六篇辭ナシ
解アル者ハ實
ル三五百篇ナ
絃歌彈スルヲ
絃ト曰フ誦ス
ルヲ歌ト曰フ
易周易象文王
繫ル所ノ辭一
卦ノ吉凶ヲ斷
ス乾ノ元亨利
貞ノ如キ是ナ
リ孔子從テ之

野牛ト虎トニ非スノ、彼ノ曠野ノ中
ニ循行ス、吾カ道豈ニ是ナラサルカ
何ノ故ニ在ルカ乃吾レ何為ソ是ニ於テ
ナ此ニ在ル子貢ノ曰ク〔子貢〕姓ハ端
スルト、子貢ノ曰ク〔子貢〕姓ハ端
ノ道至テ大ナリ、天下能ク容ルナシ
顔回カ曰ク〔顔回〕字容ラレサル何ソ
病シ、容ラレスメ然メ後ニ君子ヲ見
ルト、楚ノ昭王、師ヲ興シ、之レヲ迎フ、
乃チ楚ニ至ルヲ得ク、將サニ封ス
ルニ書社ノ地、七百里ヲ以テセント
ス〔書社〕ノ地古ハ社二十五家ヲ里ト
ハ、其ノ社トニ各社ヲ立ツ、則チ書社
蓋シ七百里ノ人名ヲ籍ニ書スルナリ、

ヲ釋ス、故ニ通
ノ之ヲ彖ト謂
フ、今各卦ノ彖
ニ曰ク、以テ下
解、是ナリ、象
公、繫ル所ノ辭、
卦ノ下ノ義ヲ解
之ヲ大ニ象ト謂
フ、乾ノ天ヲ以
テ象ト為カ、如
キ、是ナリ、爻下
ノ象ハ、一爻ノ
義ヲ解ス、之ヲ
小象ト曰フ、乾
ノ潛龍ト云ユル
勿レト云フ、如
キ、是ナリ、孔子
從テ之ヲ釋ス、
故ニ通之ヲ各
象ト云フ、今各
卦ノ象ニ曰ク、

〔今尹〕楚ノ相、
ルナリ、孔子西可カス
ナリ、孔子衛ニ反ル、
其ノ路ニ答フ、孔子衛ニ反ル、
正フスル、政ヲ問フ、
ニ歸ル、哀公、政ヲ問フ、
リ終ニ用ユル能ハス、乃チ書ヲ序シ、
上唐虞ヨリ、下秦穆ニ至ル、古詩三千
ヲ刪テ、三百五篇トナス、皆ナ之ヲ絃
歌ス、禮樂此ヨリ述ベシ、晚ニノ易ヲ
喜ム、彖、象、繫辭、說卦、文言、ヲ序ス、易ヲ
讀ム、韋編三タヒ絶ツ、魯ノ史記ニ曰
テ、春秋ヲ作ル、隱ヨリ哀ニ至ル、十二

以下ノ辭、是ナリ、
間、奧人、事ノ終、
始、ヲ、統、言、ス、ル、
ナ、リ、説、卦、ハ、説、卦、
ノ、徳、業、ヲ、陳、説、卦、
ス、ル、ユ、ヘ、ン、ナ、リ、
リ、文、言、ヲ、釋、論、ス、
妙、ナ、リ、子、ノ、序、ス、
皆、ナ、リ、子、ノ、序、ス、
述、ス、ル、所、ナ、リ、
韋、編、章、ハ、皮、ナ、リ、
テ、簡、ヲ、ハ、編、ヲ、以、
テ、簡、ヲ、勤、ム、ル、故、
ニ、三、ノ、勤、ム、ル、故、
ニ、至、ル、獲、麟、春、
秋、經、西、ノ、符、句、
麟、ヲ、獲、ル、一、句、
ニ、止、マ、ル、麟、ハ、
膚、ノ、止、マ、ル、麟、ハ、
馬、ノ、蹄、毛、蟲、ノ、尾、

公、筆、ヲ、獲、麟、ニ、絶、ス、
公、宜、公、成、公、襄、公、
昭、公、定、公、哀、公、
ス、削、ル、ヘ、キ、ハ、則、チ、削、ル、子、夏、ノ、徒、一、
辭、モ、賛、ス、ル、ア、タ、ハ、ス、ト、
三、千、人、身、六、藝、ニ、通、ス、ル、者、七、十、有、二、
人、求、仲、由、言、偃、ト、商、顛、孫、師、曾、參、魯、
滅、明、高、柴、宓、不、齊、樊、須、有、若、公、哲、哀、曾、
憲、公、顏、由、商、瞿、漆、雕、開、公、良、需、公、西、赤、原、
馬、期、梁、鮑、琴、宰、冉、儒、顏、幸、伯、虔、公、馬、黎、巫、
曹、邴、陳、亢、叔、仲、會、秦、祖、奚、箴、公、祖、茲、廉、
黎、公、西、與、宰、父、黑、公、西、箴、穰、駒、赤、冉、季、
公、肩、秦、非、漆、雕、從、燕、伋、公、夏、申、勾、井、疆、
步、叔、乘、石、作、蜀、邾、郟、奚、施、之、常、申、績、樂、
顔、之、僕、孔、忠、薛、邦、石、處、懸、亶、左、郟、狄、黑、
商、澤、任、不、齊、榮、祈、顔、噲、原、杕、漆、雕、侈、懸、

長、ナ、リ、則、チ、筆、
ス、可、ナ、ル、者、ハ、
書、ニ、筆、ス、則、チ、
削、ル、不、可、ナ、ル、
者、ハ、則、チ、削、ル、
去、ル、六、藝、禮、樂、
射、御、書、數、中、庸、
凡、テ、三、十、章、三、
遷、初、メ、舍、墓、三、
遷、シ、次、徙、テ、市、
ニ、近、シ、三、夕、ヒ、
徙、テ、學、ニ、近、シ、
説、小、學、誓、古、篇、
ニ、見、ユ、七、篇、凡、
ソ、二、百、六、十、一、
章、三、万、四、千、六、
百、八、十、五、字、

成、顔、相、以、上、實、ニ、七、年、七、十、三、ニ、卒、
ス、子、鯉、字、ハ、伯、魚、早、シ、死、ス、孫、伋、字、ハ、
子、思、中、庸、ヲ、作、レ、リ、孟、子、ハ、其、ノ、門、人、
ナ、リ、名、ハ、軻、字、ハ、子、車、一、説、ニ、字、魯、ノ、
孟、孫、ノ、後、鄒、ニ、生、ル、
慈、母、三、遷、ノ、教、ヲ、被、リ、長、ノ、業、ヲ、子、思、
ノ、門、ニ、受、ク、道、既、ニ、通、ス、齊、梁、ニ、游、フ、
説、朱、子、ノ、序、用、ラ、レ、ス、退、テ、萬、章、ノ、徒、
ト、難、疑、答、問、ノ、七、篇、ヲ、作、ル、
楚、ノ、芒、縣、ノ、人、ナ、リ、芒、縣、高、州、李、姓、李、
母、ノ、女、生、ム、所、口、名、ハ、耳、字、ハ、伯、陽、又、曰、

綸釣繩ヲ綸ト
 曰フ〔釋〕絲ヲ射
 テ夫ニ繫テ射
 又、繒ト曰フ

ク、字ハ聃ト、周ノ守藏ノ吏トナル〔守〕
 吏〔官〕帑載ヲ出納孔子焉レニ問フ〔家〕
 スルヲ主サトル孔子之ニ告テ曰ク、
 礼ヲ老聃ニ問フ老子之ニ告テ曰ク、
 良賈ハ深ク藏メテ虚ノ如クス、君子
 ハ盛徳アツテ、容貌愚ナルカ如シト、
 孔子去テ、弟子ニ謂テ曰ク、鳥ハ、吾レ
 其能ク飛ヲ知ル、魚ハ、吾レ其ノ能ク
 游ヲ知ル、獸ハ、吾レ其ノ能ク走ヲ知
 ル、走ル者ハ、以テ網ヲ為ス可シ、游ク
 者ハ、以テ綸ヲ為ス可シ、飛フ者ハ、以
 テ繒ヲ為ス可シ、龍ニ至テハ吾レ知

老子關ヲ出ル



ル能ハス、其レ風雲ニ乘シ、天ニ上ル
 ナリ、今老子ヲ見ルニ、其レ猶ホ龍ノ
 コトミカト、老子、周ノ襄ヲ見テ、去テ
 關ニ至ル〔關〕ハ王〔令〕尹〔喜〕カ曰ク〔令〕尹〔喜〕
 守ル令、尹ハ子將サニ隱ントスルカ
 姓、喜ハ名
 我カ為メニ書ヲ著セト、乃チ道德五
 千餘言ヲ著シテ去ル、其ノ終ル所、
 ヲ知ルナレ、其ノ後、鄭ノ人烈禦寇ア
 リ〔鄭〕州、河南ニ属ス〔烈禦寇〕即〔蒙〕ノ人、
 莊周〔蒙〕邑、河南ニ属ス、亦老子ノ
 學ヲ為シ、莊周、書ヲ著ス、孔子ヲ侮ル

春秋戰國魯 五十

諸子七十子ノ

南子宋ノ女子
亂淫亂ナリ

出奔說左傳ノ
定公十五年ノ
見ユ

テ諸子ヲ謂ル

衛姫姓武王ノ弟康叔封ノ封セラル

所口ナリ康叔封武王ノ弟朝歌ニ都ス

明ノ河南衛輝府後世春秋ニ至テ靈公ノ夫

人南子ノ亂アリ子蒯聵南子ヲ殺サ

ト欲ス果サスノ出奔ス公卒ス蒯

聵ノ子輒ヲ立ツ是ヲ出公蒯聵國ニ

入リ自立ス是ヲ若トス輒之レヲ拒ク

子路其ノ難ニ與ル子路孔子ノ弟子

太子ノ臣太子蒯聵ノ臣石乞孟廩

ヲ擊ツカサリキ纓ヲ斷ツ子路ノ曰ク君子ハ

死ノ冠免カズトカサリキ纓ヲ結テ死ス衛人

子路ヲ醢ニス孔子之レヲ聞テ命ノ

醢ヲ覆シム子路既ニ衛輒ノ難ニ死

ニセラル孔子之ヲ聞テ家醢ヲ覆棄

タルヲ食フニ戦國ノ時子思衛ニ居

テ言フ苟變將トスベシト衛侯慎公ノ

曰ク變嘗テ吏トナリ民ニ賦ノ食ス

人コトニ二雞子故ニ用ヒスト子思

曰ク聖人ノ人ヲ用ユル猶ホ匠ノ木

ヲ用ユルコトシ其長キ所口ヲ取テ

其ノ短キ所口ヲ棄ツ故ニカサリキ紼連抱

把梓ニ木ノ名
皆ナ良材ナリ
把樹柳ノ如シ
葉茂微ク赤シ
梓ハ楸ノ子理
白スル者連抱
一生拱ヲ抱ト

下城皆ナ以テ
外ヲ扞テ内ニテ
衛ル所トナス
以テ比トナス
詩ノ周南鬼置
篇ニ云ク肅々
採ル鬼置之ヲ
採ツ丁々々々
赴々々々武夫
公侯ノ干城

ニノ數尺ノ術有リトモ、良工ハ棄テ
ズ、今マ君、戰國ノ世ニ處リ、而ルヲ二
卵ヲ以テ干城ノ將ヲ棄ツ、此レ鄰國
ニ聞ヘシム可ラザルナリ、衛侯ノ言、
計是ニ非スト、而ルニ群臣和スル者、
一口ニ出ル如シ、子思ノ曰ク、君ノ國
事、將サニ日ニ非ナラントス、君言ヲ
出ノ自ラ以テ是トナス、而ルヲ卿大
夫敢テ其ノ非ヲ矯ルナシ、卿大夫言
ヲ出ノ自ラ以テ是トナス、而ルヲ士
庶人敢テ其ノ非ヲ矯ルナシ、詩ニ曰

詩ニ曰ク、小雅
正月篇ノ山五
章ニ曰ク、山
蓋シ卑シト
フモ岡タリ
タリ民ノ訛言
寧シ之ヲ懲ル
ナシ之ヲ故老
夢召ト之ヲ占
予カ聖ト之ヲ
誰カ鳥ト之ヲ
唯知ラシト之
傳ニ見ユ

ク、具曰、予、聖、誰、知、鳥、之、雌、雄、ト、言、ハ、皆
聖人ト為レハ、誰カ能ク其ノ言ノ是
非ヲ別タシ、亦鳥ノ雌雄相似テ辨シ
難キカ如キナリ、解、周ノ諸侯、惟、衛ノ
朱子ノ集傳ニ見ユ、周ノ諸侯、惟、衛ノ
ミ最モ後ニ亡ス、秦ノ天下ヲ并テ帝
ト為ルニ至テ、二世始テ君角ヲ廢メ、
庶人トナス、衛、康叔ヨリ君角ニ至ル、
凡テ四十三世
鄭伯、姬、姓、周ノ宣王庶弟、桓公友ノ封セ
ラル所ナリ、西周ノ畿内ニ都、桓公
ノ子武公、其ノ子莊公ト並ニ周ノ司
徒トナル、數世ニメ簡公ニ至テ、子產

ヲ相トス、子産ハ公族ナリ、鄭君國氏、
 名ハ僑子産ノ父、字ハ子國、故孔子鄭
 二過テ子産ト兄弟ノ如シト云フ、穆
 襄ヨリ以来、鄭ノ穆公、襄公、鄭歲トメ、晉楚ノ
 兵ヲ被ラサルナシ、子産之ヲ受クル
 二禮ヲ以テノ、自ラ固フス、晉楚ノ暴
 ト雖モ馬レニ加ルアタハス、鄭周ノ
 威烈王ノ時ニ至リ、君乙、韓ノ哀侯ノ
 為メニ滅サル、韓、遷テ之ニ都ス、鄭、桓
 公ヨリ君乙ニ至ル、凡テ三十三世

三十一
 作ルニ二十

沖冠嶺著十八史畧譯解卷之一終

書

豆

十八史身言餘卷一

